

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
松本歯科大学	松本歯科大学歯学部奨学金	在学中	全学年	用途を定めない経済的支援	歯学部全学年対象(特待生を除く) (1)経済的理由により、専攻が難しく困難であると認められる者 (2)学業、人物ともに優れた健康である認められる者	貸与奨学金	年額60万円を上限とする	採用年度限り(1年間)のただし、毎年復申請可能(在学年数が6年を越えていない場合は不可)	年度ごとに決定	地域制なし	学事室	併用可	併用可		
	松本歯科大学歯学部学費特待生	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 その他	第1～第3学年の各学年において学業成績が上位で、人物が優れ、他の学生の模範となり得ると認められる者	給付奨学金 免除・減免	年額350万円(授業料減免に限り支給)	認定された年度の末日まで	各学年5人	地域の制なし	学事室	併用可	併用可		
清泉女学院大学	ラファエラ・マリア スクラシップⅠ～Ⅲ(入学時選考型)タイプ2	学校出願時		特待生・成績優秀者 その他	奨学金(入学金相当額)を給付	指定された入試で成績・人物ともに優秀と判断される学生(エントリー制)	給付奨学金	入学金全額相当額(280,000円～350,000円)	入学後	18名	地域の制なし	入試広報部	併用可	併用可	
	ラファエラ・マリア スクラシップⅡ(在学型)	在学中	在学年:4月、新入生:9月	その他	成績基準を満たし、学生生活活動などの実績、成果を収めた学生(公募制) ●新入学生 入学年度次学期の成績基準を満たし、学生生活活動などの実績、成果を収めた学生(公募制) ●在学学生 前年度の成績基準を満たし、学生生活活動などの実績、成果を収めた学生(公募制)	給付奨学金	100,000円	年間一度のみ	学部、科毎に5月1日現在の学生数により学年毎に、次のとおり定まる。 (1)100人以上の場合は、5名とする (2)50人以上100人未満の場合は、4名とする。 (3)10人以上50人未満の場合は、3名とする。 (4)10人未満の場合は、2名とする。	地域の制なし	学生支援部	併用可	併用可		
	緊急奨学金 その他	随時		学費支援 その他	学費支援	正たる学費支援者(不慮の事故等(大規模感染症の影響等含む)による学費の急変が生ずるほか何らかの原因により、経済的に学業を継続することが困難な状況に陥った学生)	給付奨学金	欄指に定める事由につき、一人1年間に1回20万円、30万円または40万円とする。	一度のみ	若干名	地域の制なし	学生支援部	併用可	併用可	
	被災等に伴う授業料等減免	随時		入学金・授業料減免 その他	学費支援	被災、大規模な感染症の発生等その他災害等による学費急変等によって経済的に学業が困難な学生	免除・減免	家計基準と被災状況または家計急変の状況に応じて、授業料等全額・半額・1/4減額。	申請し、許可された期間	若干名	地域の制なし	学生支援部	併用可	併用可	
	聖心待友連会教育支援給付奨学金	在学中	7月・11月		学費支援 学費支援 用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度	聖心待友連会の主旨に合致する教育・諸活動の目的とすること	給付奨学金	支給上限額 30万円	一度のみ	若干名	地域の制なし	学生支援部	併用可	併用可	
	食費奨学金	在学中	4月・9月		学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的に奨学金を必要と認められる学生。家計基準は、日本学生支援機構「貸与奨学金 第二種」に準ずる。	貸与奨学金	25万円(半額)	半年度一度のみ	若干名	地域の制なし	学生支援部	併用可	併用可	
佐久大学	特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 その他	学費支援 用途を定めない経済的支援	経済的に奨学金を必要と認められる学生 協学の意欲を有しながら経済的理由により既学困難と認められる学生。家計基準は、日本学生支援機構「貸与奨学金 第二種」に準ずる。	貸与奨学金	50万円(半額)	半年度一度のみ	若干名	地域の制なし	学生支援部	併用可	併用可	
	経済支援奨学生 同窓生女子元奨学金減免制度	在学中 入学後	家庭の経済状況の急変時	用途を定めない経済的支援 入学金・授業料減免	学費支援 用途を定めない経済的支援 本学園を卒業した者が入学する場合、本学園の在学生並びに卒業した者の兄弟姉妹が入学する場合	免除・減免 免除・減免	授業料の50%を免除又は貸与 入学金2万円	1年、ただし、各年度の学業成績により、必要年度毎に復申請して認定することがある。 1年間、ただし、状況により年度毎に継続して認定することができる。 入学時のみ	基準該当者若干名 基準該当者	地域の制なし	入試広報課・教務課 総務課	併用可 併用可	併用可 併用可		
長野保健医療大学	入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	入学金免除制度の対象となる者は、本学の公募推薦入試(社会人1期入試)に合格し、かつ次の全てに該当する者を保健科学部・看護学部、各学部最上位3名を選考する。 1.経済的事情により修学が困難な者。 2.出願した入試区分内で入試成績が上位の者。	免除・減免	入学金(20万円)を免除			保健科学部3名、看護学部3名	地域の制なし	入試センター	併用可	併用可
	家計急変者奨励	随時		入学金・授業料減免	学費支援	授業料免除の対象となる者は、過去9ヶ月以内に次のいずれかの事由により家計が急変し、支出が著しく増大又は収入が減少したことにより、学費納入・修学継続が困難となった学生(特待生を除く)。 ※学年途中で在学中に発生した場合は適用しません。 1. 家計支援者が会社の倒産、解雇等により、失職、退職した場合。 2. 家計支援者が死亡または離別(離婚・失踪等)した場合。 3. 家計支援者が病気(長期)に罹患した場合。 4. 家計支援者が事故、病気等により、就労不能となった場合。 5. 火災、風水害、震災等の災害により直接的、間接的影響を受けた場合。	免除・減免	年間授業料の1/3(30万円)迄免除	1)1年間 および1年度	若干名	地域の制なし	学務課	併用可	併用可	
	特別奨学生S	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	保健科学部・看護学部の新入生および各学部1名、一般1期入試において成績優秀者が対象。 特別奨学生制度は日本学生支援機構奨学金等と併用可。	免除・減免	4年間の授業料(360万円)の免除。ただし、1・2年次は免除保証3年次以降は前年成績による。			地域の制なし	入試センター	併用可	併用可	
	特別奨学生A	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	保健科学部・看護学部の新入生および各学部最上位3名、一般1期入試において成績優秀者が対象。 特別奨学生制度は日本学生支援機構奨学金等と併用可。	免除・減免	1年次授業料の1/3(30万円)を免除			地域の制なし	入試センター	併用可	併用可	
	遠隔地奨学生	入学後		入学金・授業料減免	学費支援	保健科学部・看護学部の新入生および各学部最上位3名、特別奨学生S・Aの学生は出願できない。	免除・減免	1年次授業料のうち10万円を免除			地域の制なし	学務課	併用可	併用可	
	特別奨学生B	在学中	1、2年生		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	保健科学部・看護学部前2・3年生の出願した学生のうち、学年で特に優秀な成績を収めた者を各学年1名を選考。 特別奨学生の適用は、在学中1回のみ。	免除・減免	新学年早期授業料の1/3(15万円)を免除			地域の制なし	学務課	併用可	併用可	
松本看護大学	特待生	その他		特待生・成績優秀者	単位履修状況や成績を勘案し、優秀者に対して学内で選抜	非公開	学費相当額を限度	非公開	非公開	非公開	非公開	併用可	併用可		
朝日大学	学業奨励奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	対象学部学科:法学部法学科、経営学部経営学科、保健医療学部健康スポーツ科学科 1 対象入試:一般入試 一般入試において総点の60%以上を取得した合格者 対象入試:大学院入学選考テスト利用入試 大学院入学共通テスト入試において総点の70%以上を取得した合格者 2 対象入試:推薦入試、特別選抜入試、高大接続推薦入試(マーケティング) 出願時の高等学校における在学全体の学習成績の状況が3以上の者 対象入試:推薦入試、推薦入試 合格者全員 対象入試:一般入試 一般入試において総点の65%以上を取得した合格者 対象入試:大学院入学選考テスト利用入試 大学院入学共通テスト利用入試において総点の60%以上を取得した合格者	給付奨学金	1 種: 授業料の100% 2 種: 授業料の50%相当	最長4年間	有資格者全員	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	スポーツ奨励奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	対象学部学科:法学部法学科、経営学部経営学科、保健医療学部健康スポーツ科学科 対象入試:スポーツ推薦入試 1 種 学業成績が高く人物良好な者または経済的支援を必要とする者で、本学が指定するスポーツ競技の全国大会もしくは都道府県大会等において優れた経歴実績をおさめた者、または所属クラブの運営に大きく貢献した者 2 種 学業成績が高く人物良好な者または経済的支援を必要とする者で、本学が指定するスポーツ競技の都道府県大会等において優れた経歴実績をおさめた者、または所属クラブの運営に貢献した者	給付奨学金	1 種: 授業料の100% 2 種: 授業料の50%相当	最長4年間	有資格者全員	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	収養奨励奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	対象学部学科:法学部法学科、経営学部経営学科、保健医療学部健康スポーツ科学科 対象入試:収養推薦入試、特別選抜入試 収養奨励の大会において優れた成績をおさめた者で、入学後は本学収養奨励部に所属し、活動と学業を両立できる者	給付奨学金	年間34万円	最長4年間	有資格者全員	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	会計奨励奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	対象学部学科:経営学部経営学科(入学後に「会計・ファイナンスコース」で学ぶ) 1 種 対象入試:高大接続推薦入試(会計) エントリーシート提出時に自動選択決定(総または全国経理教育協会簿記能力試験)に合格しており、出身高等学校長から推薦された者 2 種 対象入試:推薦入試、一般推薦入試、高大接続推薦入試(会計) 出願時にエントリーシートを提出し、面接において、面接委員の選定に合格しており、出身高等学校長から推薦された者	給付奨学金	1 種: 授業料の100% 2 種: 授業料の50%相当	最長4年間	有資格者全員	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	北海道・沖縄特別奨学生制度	学校出願時		入学金・授業料減免	学費支援	対象学部学科:法学部法学科、経営学部経営学科、保健医療学部健康スポーツ科学科 対象入試:すべての入試区分(入学・留学生入試は除く) 対象学部学科:各種奨学金推薦資格 対象入試:一般入試1期、大学院入学共通テスト利用入試1期 1 種 対象入試の合格者のうち成績上位の者5名 2 種 対象入試の合格者のうち1種の対象者5名を成績上位の者15名	給付奨学金	授業料の50%相当	最長4年間	有資格者全員	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	学校法人朝日大学看護師奨学金	入学後		学費支援	学費支援	対象学部学科:保健医療学部看護学科 保健医療学部看護学科に入学し、朝日大学病院に勤務を希望する者	貸与奨学金 その他	月5万円(4年間で最長240万円)	最長4年間 卒業後、朝日大学病院で採用期間と同等期間を全うすることによって奨学金の返還を免除	年度により異なる	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用可	
	学費納入支援奨学金制度	在学中	1年生～4年生		学費支援	在学生の学費支援者で、学生納付金のために金融機関から借入れた学費相当額に対する支払利息の一部を奨学金として給付。	給付奨学金	学生納付金のために金融機関から借り入れた学費相当額に対する支払利息の一部を奨学金として給付	各年度申請による	有資格者全員	地域の制なし	学事一課(学生生活支援室)	併用可	併用可	
	高度資格取得奨励奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	学費支援	対象学部学科:経営学部経営学科(入学後に「会計・ファイナンスコース」で学ぶ) 対象入試:推薦入試、一般推薦入試、高大接続推薦入試(会計) 対象:高等教育で「商業」を履修していない者で、本学の経営学部の対象の出願時に本奨学金の申請書を提出した者(※詳細は、専用ウェブサイトにて確認ください。)	給付奨学金	1年次: 授業料の100% 2年次以降は、前年度の学業成績等及び日商簿記2級の合格状況を審査のうえ決定します。	最長4年間	有資格者全員	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	岐阜協立大学	岐阜協立大学大生満防回員修学支援奨学金	随時		その他	学生満防回員に活動実績にあるものに対し支給	本学に在籍し大垣市内に居住している者で、市内の満防回員に在籍し活動している者	給付奨学金	活動実績のある月にに対し、月額1万円	採用決定月から卒業までの活動料(支払期間は3ヵ月間)	10名程度	岐阜県	学生キャリア支援課	併用可	併用可
		スカラシップ奨学生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	全学可対象 一般選抜及び大学院入学共通テスト利用選抜の入試において成績上位の者 ※4年次まで学期毎に変更の申請および学業成績による審査あり	免除・減免	一般選抜または大学院入学共通テスト利用選抜の成績により、半期の授業料をそれぞれ100%、70%、50%、30%減免	半期ごとの学費請求時に減免	区分や入学人数により異なる	地域の制なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可
指定校特待生制度		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費支援	経済学部・経営学部の学生対象 次の①または②のどちらかに該当する者 ①3学期定年の学業成績の自己申告(前年度平均値)以上の者 ②高等中学校第1学期または前期までの全体の学業成績の状況の自己申告(前年度平均値)が0以上の者で、本学が指定する資格を有する者 ※卒業まで1学期毎に変更の申請および学業成績による審査あり	免除・減免	授業料半額を減免	半期ごとの学費請求時に減免	入学人数により異なる	地域の制なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可	
課外活動特待生制度		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	学費支援	全学可対象 対象者:当該クラブの指導者が競技実績等で特待生としてふさわしいと判断し、本学課外活動特待生選抜で合格した者 ※4年次まで学期毎に変更の申請および学業成績による審査あり	免除・減免	授業料100%減免 授業料100%減免 授業料50%減免 授業料25%減免	半期ごとの学費請求時に減免	区分や入学人数により異なる	地域の制なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可	
岐阜協立大学看護学部奨学生制度		在学中	2年次、3年次、4年次		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	学費支援	看護学部学生(2～4年次) ○年間授業料相当額 対象者:学業成績優秀者1名 ○年間授業料4分の1相当額 対象者:学業成績優秀者4名	給付奨学金	学業成績優秀者1名、年間授業料相当額 学業成績優秀者4名:年間授業料4分の1相当額	半期ごとに分けて1年分支給	各学年 最優秀者1名、優秀者4名	地域の制なし	学生課	併用可	併用不可
卒業生の子弟等入学奨学金制度		入学手続時		入学金・授業料減免	学費支援	入学推薦制度 下記に該当し、所定期間内に申請のあった者について入学料相当額を返還 ○岐阜協立大学または大垣女子短期大学に入学または卒業した者の親等以内の親族が、本学の学部に入学者とき ○岐阜協立大学または大垣女子短期大学に入学または卒業した者の2親等以内の親族が、本学の学部に入学者とき	免除・減免	入学料相当額	1回限り	人数制なし	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用可	
岐阜協立大学奨学金		在学中	入学後および各学年進級後		学費支援	学部学生 ○前年度次の授業料相当額の半額を給付 成績・人物ともに良好であり、経済的理由により修学困難と認められた者 ①指定校推薦入学者選抜において、高等学校の成績優秀者または有資格者の基準を満たした者。 ②学校推薦型選抜高校推薦方式において、経済学部経営学部は小論文試験の成績上位者、看護学部は小論文試験の成績上位者または本学が指定する外部検定試験の基準に達している者。 ③総合選抜自己推薦方式において、本学が指定する外部検定試験の基準に基づき1年以上達している者。 ④一般選抜の成績上位者。 ⑤大学院入学共通テスト利用選抜の成績上位者。	給付奨学金	授業料相当額の半額	半期ごとに分けて1年分支給	若干名	地域の制なし	学生キャリア支援課	併用不可	条件有り併用可	
岐阜協立大学特別奨学生制度		学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	学費支援	本学学部に入学者私立外国人留学生で、学業・人物ともに優れた、経済的理由により修学が困難な者 標準取得単位数(各期終了時の累積) 1年次…前期:12 後期:31 2年次…前期:44 後期:62 3年次…前期:78 後期:93 4年次…前期:107 後期:124 GPA(各期終了時の累積) 2年次…前期:2.5 後期:2.5 3年次…前期:2.5 後期:2.5 4年次…前期:2.5 後期:2.5	給付奨学金	20万円または30万円(資格取得状況により異なる)	入学年次の1月	1)経済学部・経営学部、各学科5名 2)看護学部:成績上位者は5名	地域の制なし	入試広報課	併用可	併用可	
私費外国人留学生奨学金		入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	学費支援	本学学部に入学者私立外国人留学生で、学業・人物ともに優れた、経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金	入学年次:半期 40,000円 2年次以降:半期 120,000円	半期に1回 前期9月月末、後期3月末	1)人数制なし	地域の制なし	学生キャリア支援課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
岐阜女子大学	特別奨学金制度【学種別選抜型選抜・公募制対象】	学校出願時		入学支-授業料減免	全学部の学級委員長選抜合格者で申請書類提出者 経済状況と成績の条件を満たす者	給付奨学金 年額40万円	給付奨学金	年額40万円	入学時1回のみ	10名	地域の制限なし	総務部	併用不可	併用可	
	特別奨学金制度【在学生対象】	在学中	1年生～4年生	学費支援	1年～4年生の全学部学生対象 経済状況と成績の条件を満たす学生	給付奨学金	年額40万円	1年間(毎年選抜)	年間40名		地域の制限なし	総務部	併用不可	併用可	
	通識教育特別奨学金	在学中	1年生～4年生	その他	専修教員の一部を給付	給付奨学金	2万円/回	年2回		人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	特別入学制度	入学後		学費支援	以下の圏内遠隔地から本校(岐阜市)に入学した全学生 対象遠隔地 北海道全域・佐渡島(新潟県)・対馬(長門県)・鹿児島県の島嶼部・沖縄県全域	給付奨学金	入学金の半額	1年生1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
	災害被災学生及び入学生の見学金	随時		被災者資金支援	全学部・全学年原則として災害被災者が適用される地域を対象	免除・減免	当該年度の授業料の2分の1の金額を減免。 (減免内容は被災状況により、個別対応)	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	総務部	併用可	併用可	
沖縄教育基金	在学中	1年生～4年生		学費支援	沖縄県出身の高校生が、岐阜女子大学(太郎山キャンパス)に入学した場合に適用。	給付奨学金	①入学時一律20万円 ②2～4年生に各々4～10万円	1年1回		人数制限なし	沖縄県	総務部	併用可	併用可	
同窓会の子どもの奨学金	入学後			入学支-授業料減免	岐阜女子大学同窓会員の子弟またはその実親縁が本学に入学した場合。	免除・減免	10万円/年	1～4年 ※各学年分について重複しての給付は行わない。		人数制限なし	地域の制限なし	同窓会	併用可	併用可	
中京学院大学	特待生選抜テスト	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	模擬テストで成績優秀な方に授業料等の減免を行う特待生制度です。 特待生の権利を取得された方は、その年度の入試区分の特待生待遇で受検できます。 (適用されない入試区分もあります。 入学後、4年間の授業料減免が実施されます。(毎年審査あり)	免除・減免	・入学金50万円免除 ・授業料30万円免除 ・入学金の半額免除 ・入学金の半額免除	毎年審査があります。	制限なし		地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
東海学院大学	スポーツ奨学金制度	学校出願時		学費支援 課外活動支援制度	対象・学年:入学時から直前4年間 学部:全学部 資格:条件:スポーツ推薦入試において、合格候補者とした者の中から、入試委員会において選考した者。 ①クラブ、国際的競技会に代表として出場した者、あるいは全国インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場しベスト8までに入った者 ②クラブ、インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者 ③クラブ、県大会などの地方大会に出場し、ベスト3以内に入った者、あるいは学部長、顧問、部長、あるいは監督又は部長自らが競技体験者として出場した者 ④特別奨励賞を受賞した者、特別奨励賞を受賞した者 ⑤クラブ、インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者 ⑥クラブ、インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者 ⑦クラブ、インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者 ⑧クラブ、インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者 ⑨クラブ、インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者 ⑩クラブ、インターハイ、全国選抜大会などの全国大会、あるいは団体に出場した者	免除・減免	①授業料及び教育実習相当額を免除 ②授業料相当額を免除 ③授業料相当額の半額を免除 ④授業料相当額の半額を免除 ⑤授業料から年間5万円を免除	入学時から原則1年間、ただし、選考、あるいはスポーツ推薦等による選考を経て選考された者については、入学後の審査により停止する。	地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可			
	学費減免制度	学校出願時		学費支援 入学支-授業料減免	対象・学年:入学時から直前4年間 学部:全学部 資格:条件:社会人入試、外国人留学生入試において合格候補者とした者の中から、入試委員会において選考した者。	免除・減免	社会人入試による合格者:①授業料の半額を免除 外国人留学生入試による合格者:②入学金の半額および③授業料の半額を免除	①4年間 ②1回限り ③4年間			地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	入学金免除制度	学校出願時		入学支-授業料減免	学部:看護学のみ 学部:全学部 資格:条件:ファミリー入試において合格した者。	免除・減免	入学金を全額免除	1回限り		若干名		地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可
	特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	学部:全学部 学部:全学部 資格:①または②に該当する者。 ①指定推薦入試に合格した者で、高等学校在籍時の成績が一定以上の者について、入試委員会において、選考した者。3年次及び4年次の奨学生の適用については、審査により決定する。 ②特別奨学生入試において優秀な成績で合格した者。	免除・減免	①特別奨学生A:授業料の全額を免除 ②特別奨学生B:授業料の半額を免除 ③入学金相当額を免除	①2回限り ②2回限り ③1回限り			地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	特別優遇奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	学部:全学部 学部:全学部 資格:一般選抜、大学入学共通テスト利用入試、大学入学共通テスト利用プラス入試において合格した者の中から、入試委員会において、高等学校在籍時の評定平均値が一定以上の者について選考した者。 条件:高等学校在籍時の評定平均値が3以上となる者。	免除・減免	授業料から年額40万円を減免	原則として2年間減免する。 3年次および4年次に於ける適用については、入学後の成績により審査の上、決定する。			地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可	
	進学をあらゆるい奨学金	学校出願時		学費支援 入学支-授業料減免	学部:全学部 学部:全学部 資格:推薦入試、公募推薦入試、特別奨学生入試、一般選抜、大学入学共通テスト利用入試及び大学入学共通テスト利用プラス入試で合格した者の中から、申請書提出した者について、委員会において選考した者。 条件:経済的理由(本学が定める経済的理由)に基づき進学を希望する者により大学進学が困難な状況にある者で、高等学校を卒業した者または卒業見込みの者。(既婚者及び既婚者による結婚費用の支拂を含む。)	免除・減免	①入学金の全額および授業料の全額を免除 ②入学金の半額および授業料の半額を免除	①2年間 次年度以降の支給は、継続審査により決定する。			総務委員の5～10%	地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可
	特待生選考試験	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	学部:全学部 学部:全学部 資格:①または②に該当する者の中から、入試委員会において、試験の成績について選考した者。 本学が特待生選考試験の受験対象に指定する入試試験に合格し、第1次入学手続きを完了した上で、特待生選考試験に出席し、優秀な成績を収めた者。	免除・減免	①入学金の全額相当額を免除 ②入学金の半額相当額を免除 ③入学金の相当額を免除	①2回限り				地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可
	奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	学部:全学部 学部:全学部 資格:①または②に該当する者の中から、入試委員会において、入試の成績について選考した者。 一般選抜、大学入学共通テスト利用入試、大学入学共通テスト利用プラス入試を受験し、優秀な成績を収めて合格した者。	免除・減免	①入学金の全額相当額を免除 ②入学金の半額相当額を免除 ③入学金相当額を免除	①2回限り			募集定員の5～10%程度	地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可
	沖縄特別奨学金	学校出願時		入学支-授業料減免	学部:全学部 資格:沖縄に在住する通識生を除く高等学校に通学している高校生で卒業見込みの者	免除・減免	入学金の半額を減免する	1回限り				沖縄県	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可
	社会人及びお祝い奨学金	学校出願時		学費支援	対象・学年:入学時から直前4年間 学部:人間福祉学部(子ども発達学科、健康福祉学部)総合福祉学部 資格:本学の福祉学部には社会人入試で受験した上、かつ入学時に満18歳以上となる者	免除・減免	①入学金の全額を免除および授業料の半額を免除	①1回限り ②2回限り				地域の制限なし	入試広報部 入学試験課	併用可	併用不可
中部学院大学	指定推薦入試特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	全学部・高等学校ごとに定める評定平均値を満たす者	免除・減免	授業料の全額、半額、入学金と※評定値により異なる	原則、卒業までの4年間(入学金は入学年、2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること)			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
英語検定特待特別奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免 課外活動支援制度	(A)取得者奨学金 入学時:実用英語検定2級以上(全英検1級)取得者またはそれに準ずる者 但取得者奨学金 入学後:英検2級以上を取得した者またはこれに準ずる資格を取得した者 (B)海外研究奨学金 入学時:英検2級以上を取得した者またはこれに準ずる資格を取得した者が、本学企画する海外研修に参加する場合	免除・減免	(A)取得者奨学金 子ども教育学科は授業料全額免除 人間福祉学部、健康福祉学部、看護学部、スポーツ健康科学科は授業料半額免除 (英検準2級以上)取得者またはこれに準ずる者には入学支-授業料減免 (B)海外研究奨学金 取得に際し、10万円の特別奨励金を支給 (C)海外研修支援奨学金 海外研修の経費(生活費と上乗せ)	特待生奨学金:原則、卒業までの4年間 取得者奨学金:原則、卒業までの4年間 海外研究奨学金:原則、卒業までの4年間 海外研修支援奨学金:原則、卒業までの4年間	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可				
厚生堂児童福祉奨学金プラス	学校出願時		学費支援	人間福祉学科、子ども教育学科・児童福祉施設入所児童及び児童子、待来、児童福祉分野で活動を行うことを目標としている者	給付奨学金	800,000円(厚生堂児童福祉奨学金300,000円+本学奨学金500,000円)		原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること			地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
課外活動特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	課外活動特待生奨学金	免除・減免	減免額は、高校での活動実績、成績等を勘案して決定 ※: 学納金全額、授業料全額、入学金全額、授業料半額	特待生奨学金:原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること				地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
学業優秀者奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	全学部・入学試験における成績優秀者・各入学試験において成績等の上位者から選抜	免除・減免	授業料の全額、半額または入学金のいずれかを減免	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること				地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
専攻支援奨学金	学校出願時		学費支援 入学支-授業料減免	全学部・前年の父兄の合計収入が400万円未満と高等学校の成績(評定平均値3.0以上)、各入学試験の成績等を踏まえて選抜	免除・減免	授業料の半額	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること				地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
初田奨学金	学校出願時		学費支援	特来、父兄・祖父母等の親に在籍しよとす者・家計や成績等をふまえて選抜 対象学部:人間福祉学部人間福祉学科	給付奨学金	年間 100,000円	1年間				地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
障がい学生奨学金	入学後		その他	障がいのため修学上特別な費用を負担する学生の支援	給付奨学金	20,000円～100,000円(年間) 障がい状況により決定する。	①1年間				地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
災害時支援奨学金	随時		被災者資金支援	全学年・全学部(災害等)により学業の継続が難しくなった者	給付奨学金	当該年度の授業料の1/3に相当する額を被災の状況により決定する。					地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
授業料減免資金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	全学年・全学部(家計急変のため経済理由により修学の継続が困難な者)	貸与奨学金	当該年度の半期学納金の範囲内					地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
介護福祉士資格取得者特別奨学金	学校出願時		入学支-授業料減免 その他	①介護福祉士資格取得者(取得見込み含む) ※資格取得見込みの者が、大学入学まで取得できなかった場合は対象外となります。 ②対象学部:人間福祉学部人間福祉学科	免除・減免	年額 授業料の半額	原則、卒業までの4年間 ※2年次以降は本学が定める所定の成績を確めること				地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可	
岐阜保健大学	特別奨学生入試見込者の特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免 奨励支援	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生Aに選考される。 特別奨学生A:入学金免除・授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料半額免除(最長4年間) ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	免除・減免	特別奨学生Aは入学金200,000円の免除に加え、授業料全額免除700,000円(年間) 特別奨学生Bは授業料半額免除350,000円(年間)	4年間 特待生も一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。 ※特別奨学生A・Bを合わせた人数です。			看護学部 看護学科 15名 看護学科(トランス)学部 看護福祉学科 10名 作業療法学科 6名	地域の制限なし	入試・広報部	併用可	併用不可
	一般入試見込者の特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生Aに選考される。 特別奨学生A:入学金免除・授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料半額免除(最長4年間) ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	免除・減免	授業料全額免除:年間70万円 授業料半額免除:年間30万円			若干名	地域の制限なし	入試・広報部	併用可	併用不可	
	大学入学共通テスト利用入試見込者の特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	入学試験の結果により、成績上位者より特別奨学生A、特別奨学生Bを選考します。 特別奨学生Aに選考される。 特別奨学生A:入学金免除・授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B:授業料半額免除(最長4年間) ※入学後一定の基準を満たす成績を確めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。	免除・減免	特別奨学生A:減免額10万円 特別奨学生B:減免額30万円			若干名	地域の制限なし	入試・広報部	併用可	併用不可	
	在学生内奨学金制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	前年度(2年次の場合、1年次)の学業成績により、奨学生を決定します。	免除・減免	授業料の半額を免除				若干名	地域の制限なし	学務課	併用可	併用不可
	静岡理工科大学	授業料100万円給費奨学生【授業料サポート100】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	入試成績により選抜。一般前期入、一般前期入共通テストプラス、前期共通テスト利用入、前期共通テスト利用Sにおいて成績上位者の者を採用。	免除・減免	年間100万円	最大4年間		30名以内	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可
授業料50万円給費奨学生【授業料サポート50】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	入試成績により選抜。専門高校・総合学科給費奨学生推薦において成績優秀者30名以内、公募給費奨学生推薦において成績優秀者30名以内、前期共通テスト利用(A)において合格者の内、合計特待率45%以上の方、前期共通テスト利用(S)において合格者の内、合計特待率60%以上の方(※人数制限なし)	免除・減免	年間50万円	最大4年間				地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	
入学金30万円給費奨学生【入学金サポート】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	専門高校・総合学科給費奨学生推薦において成績優秀者各10名以内の入学金金額(30万円)を免除	免除・減免	入学金全額(30万円)	入学時のみ				地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	
入学支援金10万円給費奨学生【入学支援給費】	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	前期共通テスト利用(A)及び前期共通テスト利用(S)において合格者の内、合計特待率55%以上の方(※人数制限なし)	免除・減免	入学金の一部(10万円)	入学時のみ				地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	
静岡理工科大学緊急援助奨学金	随時		学費支援	次に掲げる条件全てを満たす者 ・家計急変により授業料の納付が困難と認められる学生で、標準修業年間で卒業できる見込みの者 ・独立行政法人日本学生支援機構の緊急修学奨学金または公益財団法人奨学金を申請し、かつ、入学金等に相当する額の本学の奨学金を申請した者	免除・減免	半期授業料全額	在学中1回を原則とする			各学期で6名まで	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可	
静岡理工科大学卒業生及び在学生の兄弟姉妹に対する給費型奨学金	入学後		入学支-授業料減免	次に掲げる条件のいずれかを満たす者 ・兄弟姉妹が本学に合格または在籍しており、新たに2人目以降の兄弟姉妹が入学して在籍している ・本学の卒業生または入学した者の親族の子弟が本学に入学して在籍している	免除・減免	入学金全額(30万円)	1回のみ			人数に限りなし	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
在学生選抜奨学金	在学中		特待生・成績優秀者	次に掲げる条件全てを満たす者 ・進級時の成績順位が、上位3%以内である者 ・人物(本学)として優れている者 ・本学に貢献している者 ・本学の規則に基づき給費型奨学金を受給していない者 ・本学の規則に基づき奨励型奨学金を受給していない者	免除・減免	年間50万円	1年間とする。ただし、再度、奨学生として選考することを除かない。			若干名	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有り併用可	
常葉大学	学業成績優秀奨学生	在学中	学部2～4年生	特待生・成績優秀者	学部2～4年生のうち、人物に優れた学業成績が特に顕著で、経済的支援を必要とする学生が対象です。	給付奨学金	年額30万円	採用時の1年間、前期学納納入後に一括給付する		学部計70名程度	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有り併用可	
	奨学生入試奨学生	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	奨学生入試による奨学生を合格者。 奨学生A:全学部学科1～30名(合計9名)授業料1年間全額免除、審査を経て2～5年間継続。 奨学生B:学部学科4～30名(合計24名)授業料2年間半額免除、審査を経て2年間継続。	免除・減免	奨学生A:授業料全額免除。 奨学生B:授業料半額免除。	2年間、審査を経ての2年間継続。		奨学生A:全学部学科2～10名(合計9名) 奨学生B:全学部学科4～30名(合計24名)	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	特別奨学生	入学手続き時		特待生・成績優秀者 入学支-授業料減免	一般入試前期日程または共通テスト利用入試前期日程の成績上位者、各30名	免除・減免	初年度納付(授業料)から20万円減免	入学手続き時		80名(一般入試前期日程または共通テスト利用入試前期日程、免除)	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
強化指定クラブ活動奨学生	入学手続き時		入学支-授業料減免	スポーツ推薦入試等に入学を認められたもので、スポーツの分野で優れた成績を達成し、さらに高い目標に挑戦する者。	免除・減免	入学支-授業料・施設設備費の半額免除	入学後の4年間免除する。ただし、1年間の審査により免除を取り止めることもある。				地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
静岡英和学院大学	共通テストスカラシップ	その他		学費支援 入学支-授業料減免	一般選抜の「大学入学共通テスト利用」、又は、「ハイブリッド型」の合格者が対象。大学入学共通テストの受験科目の内、3科目の合計得点400%以上の者(共通テスト受験科目:1科目、大学入学共通テスト受験科目:2科目)又は、共通テスト受験科目の内、2科目の合計得点400%以上の者(共通テスト受験科目:2科目、大学入学共通テスト受験科目:1科目)のうちから英語以外の1科目	免除・減免	(共通テスト)入学支、授業料の全額(44万円) (共通テスト)入学支、授業料の半額(22万円)	1年次	制限なし		地域の制限なし	入試課・広報課	併用可	条件有り併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
静岡薬学院大学	静岡薬学院大学奨学金	在学中	3年次(前期6月、後期12月)	特待生・成績優秀者	「在学中」に対する給付が積極的であり、学業成績と人物がともに優秀であること。 ・学費の補助を要すること。 ・学校行事に積極的な協力を要すること。	給付奨学金	半期授業料の半額に相当する額	各期1回のみ支給	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	グローバルスカラシップ	その他	出願時、または合格後本学が指定する日(2024年9月21日(木))までに申請	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	・採用要項前掲規定(2年以上「CBT、S-CBT含む」 Cambridge English(英1)400以上) ・TOEFL(90以上) ※2023年4月以降に受験したスコアの場合は930以上 ・TOEFL 407(420以上) ・TOEFL(110以上 SAWを2.5倍) ・TEAP(225以上) ・TEAP-CBT(420以上) ・IELTS(4.0以上)	免除・減免	入学年度の授業料の全額減免、計64万円。	1年次	制度なし	地域の制限なし	入試課・広報課	併用可	条件有り併用可	
	推薦スカラシップ	その他	対象基準を満たした者に適用、または対象となら入学者選抜の合格前に	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	以下の条件により、推薦スカラシップ生を選考。 ① 推薦の人数選抜(後者全選抜)より一前期の合格者 → 成績上位者最大2名 ・学校推薦選抜(指定校 前期)の合格者 → 成績上位者最大2名 ・総合推薦選抜(指定校 前期)の合格者 → 成績上位者最大2名 ・総合推薦選抜(指定校 前期)の合格者 → 成績上位者最大2名 【審査に使用する科目】 必須:英語 選択:英語以外の教科・科目から1教科(最高得点を参照)	免除・減免	授業料年額の半額(32万円)を2年間減免、計64万円。	入学時、1年次10月、2年次4月、2年次10月に分けて減免。	最大6名	地域の制限なし	入試課・広報課	併用可	条件有り併用可	
	一般スカラシップ	その他	一般選抜一般前期/ハイブリッド型の合格者で基準を満たした者に適用	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一前期から二前期まで連続して、一般前期の国語(近代以前の文章)及び英語の2科目合計得点率が75%以上の者。但し、この基準に該当する者がいない場合は、得点が最上位の者。	免除・減免	授業料年額の半額(32万円)を2年間減免、計64万円。	入学時、1年次10月、2年次4月、2年次10月に分けて減免。	制度なし	地域の制限なし	入試課・広報課	併用可	条件有り併用可	
	英和生(両生子女)入学金減免	入学後	入学後	入学金・授業料減免	以下のいずれかに該当する者に(両方に該当する場合は1套適用) ① 母親又は父親が本大学及び短期大学(部)又は静岡薬学院大学附属高等学校の卒業生の場合 ② 兄弟姉妹が本大学及び短期大学(部)の在学学生又は卒業生の場合	免除・減免	入学金の半額(14万円)を減免	在学中(1年次1年)	制度なし	地域の制限なし	入試課・広報課	併用可	条件有り併用可	
浜松学院大学	入学時成績給付	入学時検定		特待生・成績優秀者 学費支援	給付対象とした入学試験を受験した者のうち、成績上位者。	免除・減免	給付対象とした入学試験を受験した者のうち成績上位者に10万円～40万円を給付する。	原則4年間、継続にあたっては審査を要する。	各学年13名程度	地域の制限なし	入試・広報グループ	併用可	併用可	
	在学成績給付	在学中	3年生、4年生	特待生・成績優秀者 学費支援	3年生、4年生の学生が対象で、前年度までの学業成績の優秀者に給付する。	免除・減免	3年生・4年生のうち成績上位者に10万円～40万円を給付する。	1年間、継続にあたっては審査を要する。	各学年13名程度	地域の制限なし	入試・広報グループ	併用可	併用可	
	外国人経済的困難給付	入学時検定		特待生・成績優秀者 学費支援	外国人入学生入試を受験した成績優秀者のうち、①～④の条件をすべて満たすもの。 ① 経済支援者からの給付額が年々月額90,000円以下であること。 ② 日本国内に在住の経済支援者がいる場合、経済支援者の年収が9,000,000円未満であること。 ③ 経済支援者の年収月額合計が100,000円以下であること。 ④ 経済支援者が「世帯主」であること。あるいは「世帯主」である申請中であること。	免除・減免	10万円～40万円を給付する。	原則4年間、継続にあたっては審査を要する。	若干名	地域の制限なし	入試・広報グループ	併用可	併用可	
	経済的困難給付	入学時検定		特待生・成績優秀者 学費支援	給付を对象とした入学試験を受験した者のうち成績上位者で、かつ経済的理由により修業が困難で本校に入学し学業支援制度の予約をした者、又は入学し入学した年の04月に学費支援制度の申請をする予定の者。	免除・減免	施設設備費(12万円)と教育充実費(3万円)を全額または半額給付。	原則4年間、継続にあたっては審査を要する。	若干名	地域の制限なし	入試・広報グループ	併用可	併用可	
	資格取得支援制度	在学中		資格取得支援制度	大学が取得を奨励する資格や公務員・教員採用試験に合格した場合、奨励金を給付する。奨励する資格や受験等は資格等によって異なるため、詳細については入学後別途説明する。	給付奨学金	取得した資格等による。(例:実用英語検定2級～1万円、日商簿記検定2級～3万円)			人数制限なし。	地域の制限なし	キャリア支援グループ	併用可	併用可
	通学費・住居費助成制度	在学中	1年生～4年生	その他	通学費助成制度は1ヶ月の定期費が1万5千円以上の者を対象に2学期毎の2分の1を助成する(月額1万円上限)、住居費助成制度は1ヶ月の家賃の2分の1を助成する(月額1万円上限)。	その他	通学費助成制度は、1ヶ月の定期費が1万5千円以上の者を対象に定期費額の2分の1を助成する(月額1万円上限)、住居費助成制度は、1ヶ月の家賃の2分の1を助成する(月額1万円上限)。			人数制限なし	地域の制限なし	学務グループ	併用可	併用可
	静岡福祉大学	特待生奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	① 授業料の年額相当額(540,000円) 特に成績が優秀な者、前年度のGPAが最高得点の者 ② 授業料の年額の2分の1相当額(270,000円) 成績が優秀な者、前年度のGPAの最上位の者	その他	① 授業料の年額相当額(540,000円) ② 授業料の年額の2分の1相当額(270,000円)	① 1年間 ② 1年間	① 2～4年次の各年次ごとに、社会福祉学部及び子ども学部の各専攻ごとに1名 ② 2～4年次の各年次ごとに、社会福祉学部及び子ども学部の各専攻ごとに1名	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	併用可
一般奨学金		在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	就学の為に経済的援助を必要とする者であって、学業成績・人物ともに優秀な者	その他	授業料の年額の2分の1相当額(270,000円)	1年間	2～4年次の社会福祉学部及び子ども学部を通じて24名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
特別スカラシップ		入学時検定		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	① 一般入学試験(前・中・後期日程)および大学入試共通テスト利用入学試験(1～2次日程)受験者で成績が極めて優秀な者 ② 総合推薦入学試験(A・B日程)、指定校推薦入学試験(前期)、公募推薦入学試験(前期)の中でスカラシップ選考試験を合格し、成績が極めて優秀な者 ※2年次以降については、各年次ごとに、GPA及び履修登録単位数が、別に定める基準以上であることと条件とする。	免除・減免	授業料の年額相当額(4年間:540,000×4=2,160,000円)	4年間 ※2年次以降については、各年次ごとに、GPA及び履修登録単位数が、別に定める基準以上であることと条件とする。	1～4年次の各年次ごとに、若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
全額スカラシップ		入学時検定		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	① 一般入学試験(前・中・後期日程)および大学入試共通テスト利用入学試験(1～2次日程)受験者で成績が特に優秀な者 ② 総合推薦入学試験(A・B日程)、指定校推薦入学試験(前期)、公募推薦入学試験(前期)、内期推薦入学試験合格者の中でスカラシップ選考試験を合格し成績が特に優秀な者	免除・減免	授業料の年額相当額(540,000円)	1年間	若干名(1年次)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
半額スカラシップ		入学時検定		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	① 一般入学試験(前・中・後期日程)および大学入試共通テスト利用入学試験(1～2次日程)受験者で成績が優秀な者 ② 総合推薦入学試験(A・B日程)、指定校推薦入学試験(前期)、公募推薦入学試験(前期)、内期推薦入学試験合格者の中でスカラシップ選考試験を受験し成績が特に優秀な者	免除・減免	授業料の年額の2分の1相当額(270,000円)	1年間	若干名(1年次)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
児童福祉スカラシップ		入学時検定		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	児童福祉施設や児童宅で生活している社会的責任が必要となる中で、公募推薦入学試験(前期)の成績が社会福祉学部および子ども学部を通じて上位2位以内の者 ※2年次以降については、各年次ごとに、履修登録単位数が別に定める基準に達しなかった場合は、当該年次は、免除しない。	免除・減免	施設設備維持費の年額相当額4年間分(410,000円×4年=1,640,000円) 入学持準備金(300,000円)	4年間 ※2年次以降については、各年次ごとに、履修登録単位数が別に定める基準に達しなかった場合は、当該年次は、免除しない。		地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
愛知大学		危急奨学金	在学中	1～4年生	学費支援	1～4年生 ・大学に入学後、主たる家計支持者の死亡・失職・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生	給付奨学金	申請した学期の学費相当額	当該学期		地域の制限なし	名古屋学生課	併用可	併用可
	学業奨励金	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者 学費支援	・学部1年次生以上 ・前年度に修得した科目の単位数及び成績に基づき審査を行い、学業成績が特に優れた学生	給付奨学金	当該年度授業料半額相当額	1年間	31名	地域の制限なし	名古屋教務課	併用可	併用可	
	愛知大学スポーツ奨学金	入学後		学費支援 課外活動支援制度	・最優秀アスリートの中からスポーツ特別入試に合格し、本学の手続きを経て入学が期待される者のみから選抜する。 ・毎年、継続審査を要し、4年次まで給付	給付奨学金	① 学費の年額相当額 ② 学費の半額相当額		最長修業年数内(年度毎に継続審査あり)	① 2併せで6名	地域の制限なし	名古屋学生課	併用可	併用可
	愛知大学スカラシップ	入学時検定		特待生・成績優秀者 学費支援	・1次生 ・前期入試、M方式入試および共通テスト利用入試(前期)5教科型の成績上位者	給付奨学金	学費の半額相当額	1年間	300名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	教育ローン補助奨学金	在学中	1～4年生	その他	科子補給	1～4年生 ・日本政策金融公庫等が取り扱う教育ローンを利用して学費等(入学金を含む)を期間内に納入し、修学を継続しうる学生	給付奨学金	・教育ローン(借入上限200万円)の利率のうち、年利率9%相当額(5%に満たない場合は実利率) ・当該教育ローンが利用開始時に別途保証料を支払った場合は、10万円を限度として採用初年度に限り給付		最長修業年数内(年度毎に継続審査あり)	地域の制限なし	名古屋学生課	併用可	併用可
	外国語に関する奨励金	在学中	1～4年生	留学費用支援制度	本学の「学生の外国留学に関する履修」に基づき留学する学生で、条件に当てはまる学生、日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)の採用学生は除く。	給付奨学金	【交換留学生】 1学期一律20万円、2学期40万円を上限(協定留学学生) 1学期一律2万円、2学期10万円を上限	留学期間	地域の制限なし	国際交流課	併用可	条件有り併用可		
	愛知大学遠征奨励金(大分県)育英奨学金	入学後		学費支援	・入学時に申請 ・大分県内の高等学校を卒業し、一般選抜の合格によって4年生学部へ入学した学生	給付奨学金 貸与奨学金	・月額5万円給付 ・申請より入学金、学費相当額を貸与	最長修業年数内(年度毎に継続審査あり)	若干名	大分県	入試課	併用可	併用可	
	短資金「知」を愛する奨学金(入学前予約採用給付奨学金)	その他	2023年10月10日(火)～2024年1月5日(金)消印有効	用途を定めない経済的支援	・運動部員(空知、硬球、三重、静岡以外の県内等)等(各専攻)学校出身者 ・高卒(中等教育)課程修了後2024年度卒業生(ただし卒業生以外の卒業生に在籍した者) ・全体の学習成績の状況が「3以上」である者 ・前年度以降の入学又は前年度以降の入学が決定する者 ・本学の一般選抜(学部)を受験し、入学する学生 ・大学入学試験前に出願必要	給付奨学金	年額50万円		最長修業年数内(毎年継続審査あり)	5名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	山形県山形市「愛知大学本県第一奨学金」	入学後		用途を定めない経済的支援	・専攻科から愛知大学短期大学部へ入学した学生 ・入学後4～5月に申請	給付奨学金	年額75万円		最長修業年数内(年度毎に継続審査あり)	3名以内	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	(公財)愛知大学教育研究支援財団 一般給付奨学金	在学中	1～4年生	用途を定めない経済的支援	1～4年生 ・学業成績優秀であり、経済的理由により修学困難と認められる学生	給付奨学金	年額12万円	1年間	50名程度	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有り併用可	
	(公財)愛知大学教育研究支援財団 後援者急須奨学金	在学中	1～4年生	学費支援	危急奨学金の給付期限終了後も、引き続き経済的理由により学業の継続が困難と認められる学生	給付奨学金	申請した学期の学費相当額	当該学期			地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
	(公財)愛知大学教育研究支援財団 後援者学業奨励金	在学中	2年生以上	用途を定めない経済的支援	2年生以上 ・前年度に修得した科目の単位数及び成績が優秀な学生	給付奨学金	年額20万円	1年間	22名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
	愛知大学スカラシップ生公務員採用奨励金	在学中	1年次生	特待生・成績優秀者 就職支援	愛知大学スカラシップ生で国家公務員・地方上級公務員を目指したい1年次生に対し、指定の講座を無料で提供。	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
	新入生公務員志願者選抜奨励金制度	在学中	1年次生	特待生・成績優秀者 就職支援	卒業後国家公務員・地方上級公務員をめざしたい1年次生を対象に試験を実施し、その成績優秀者に対し、指定の講座を無料で提供。	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
	学業奨励金公務員・教員志願者奨励金制度	在学中	1～2年次生	特待生・成績優秀者 就職支援	卒業後国家公務員・地方上級公務員、公立学校教員をめざしたい1年次生。	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
	就職試験合格者奨励金制度	在学中	1～2年次生	就職支援	宅地建物取引士、行政書士、簿記試験合格者で国家公務員・地方上級公務員をめざしたい1、2年次生に対し、指定の講座を無料もしくは半額で提供。	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
	公務員講座TOP40選抜制度	在学中	3年次生	特待生・成績優秀者 就職支援	対象の公務員講座内で選抜試験を行い、高得点上位者40名が対象	免除・減免	対象講座受講料の無料化	対象講座受講期間	40名	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可	
	公務員試験合格者奨励金制度	在学中	卒業年の3月	就職支援	本学在学中に公務員・教員採用試験に合格した学生	給付奨学金	指定額	卒業時	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
	キャリア開発講座合格奨励金制度	在学中	対象講座合格時	資格取得支援制度	キャリア開発講座の受講生で、受験した国家資格などの合格者	給付奨学金	試験の難易度により、1,000円～15,000円	対象講座合格時	地域の制限なし	名古屋キャリア支援課	併用可	併用可		
	愛知医科大学	医学部学納金減免制度	その他	前年度の成績を基に対象者を決定するため、申請不要	特待生・成績優秀者	在学中成績の優秀な者には、授業料の一部(100万円)を免除する。	免除・減免	授業料の一部(100万円)	初学期	2～6年次生 各学年2名	地域の制限なし	医学部事務部学生課	併用可	併用可
医学部奨励学費貸与制度		その他	5月中旬頃まで	学費支援 就職支援	本学奨励金に在籍する5学年次以上の学生が卒業後、本学に動向(臨床研修医及び大学院生を含む。)する場合には、年額300万円を貸与する独自の奨励学費貸与制度があります。 愛知医科大学病院において、奨励金の貸与を受けた期間に相当する期間を勤務することにより、貸付金の返還が全額免除されます。 【例】2年間貸与を受けた場合 臨床研修2年+職員勤務2年間=4年間 ※卒業後、本学に勤務できない場合、貸与を受けた奨励金の全額(利息年10%)は加算して返還することになります。 一般選抜試験成績上位者100名のうち(学校推薦選抜及び併合入塾特別選抜合格者の奨励金受給者を含む。)入学した者には、初年度の教育充実費及び臨床実習費を全額免除します。 ※学校推薦選抜及び併合入塾特別選抜の合格者は、奨励金として一般選抜を受験することができ(受験料無料)、その成績が優秀であった者には初年度の教育充実費及び臨床実習費を全額免除します。	貸与奨学金	年額300万円	貸与決定の年度から本学医学部を卒業する年度まで	8名以内	地域の制限なし	医学部事務部学生課	併用可	条件有り併用可	
看護学部成績優秀者学納金減免制度(新入生)		その他	入学試験の成績を基に対象者を決定するため、申請不要	特待生・成績優秀者	在学中成績の優秀な者には、授業料の一部(100万円)を免除する。	免除・減免	初年度の教育充実費(20万円)及び臨床実習費(17万円)を全額	① 1年間 ② 1回限り	一般選抜試験成績上位者100名のうち(学校推薦選抜及び併合入塾特別選抜合格者の奨励金受給者を含む。)入学した者	地域の制限なし	看護学部学生支援課	併用可	併用可	
看護学部成績優秀者学納金減免制度(在学)		その他	前年度の成績を基に対象者を決定するため、申請不要	特待生・成績優秀者	在学中成績の優秀な者には、翌年度前年分の教育充実費及び臨床実習費を全額免除します。特に優秀と認められる者については、後学期分についても全額免除します。	免除・減免	翌年度の教育充実費(30万円)及び臨床実習費(22万円)を全額又は半額		各学年10名以内(特に優秀と認められる者については、10名以内)	地域の制限なし	看護学部学生支援課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(3)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
愛知学院大学	新入生特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新入生特待生制度 ・対象学年：1年度、条件を満たすことで2年度以降も給付対象 ・対象学部：全学部 ・条件：共通テスト/利用試験1期において、成績優秀者に対し、入学金、授業料等を減免。なお、対象試験の得点率が70%以上という条件あり。	給付奨学金 免除・減免	初年度免除額15万円以上(※学部により異なる) 2年度以降 30万円給付		2年度以降は成績などの条件を満たす必要あり	268名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有りて併用可	
	新入生応応奨学金	入学手続時		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	50万円		入学時1回限り	20名を限度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りて併用可	
	応応奨学金	随時		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	50万円		在学期間中1回のみ	10名を限度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りて併用可	
	開学50周年記念奨学金	その他	4～7月	学費支援	成績優秀で経済的理由により進学が困難な者 当期の学納金を完納していることが条件 採用回数(修業年間の1/2を超えない事)	免除・減免	30万円			28名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りて併用可	
	特待生奨学金	その他	毎年度本学にて選考		特待生・成績優秀者	対象学年：2年生以上 対象学部：全学部 対象専攻：前年度の履修単位数が32以上(文学部・健康科学部、心身科学部4年生は26以上)。(※学部・専攻部を除くで、学業成績がGPA3.0以上(※学部・専攻部はGPA以上)あり)	給付奨学金	30万円	1年		各専科、在籍学生数140名未満は、10名以上22名、20名以上は18名、30名以上は14名(ただし、薬学部・歯学部は各専攻2名)、GPA3.6以上あれば、規定数に追加される。	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りて併用可
	外国人留学生特待生奨学金	その他	本学にて選考		特待生・成績優秀者	対象学年：2年生以上 対象学部：全学部 資格：外国人留学生。前年度の履修単位数が32以上(※学部は除く)で学業成績が優秀(GPA3.0を基準)。特待生に選考された者は除く。	給付奨学金	30万円	1年	各専攻1名		地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りて併用可
	グローバル特待生制度	入学手続時			特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象学年：入学期 対象学部：文学部 選考基準(条件)：公募新推薦入試A・Bの合格者で下記選考・検定のいずれかのいずれかの基準を満たしているもの。 英検 2.304(準一級) / TOEIC 750 / TOEFL iBT 37 / QTCE CBT 1,080 / IELTS 4.5 / TEAP 280	給付奨学金 免除・減免	初年度免除額128万円		3名	地域の制限なし	入試センター・入試広報課	併用可	条件有りて併用可	
愛知学院大学	学力優秀者減免制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	1)一般選抜(前期)入試の成績上位者 2)大学入学共通テスト利用(前期)入試の成績上位者 3)2年度以降は学業成績が上位30%以内であること	免除・減免	①入学金全額(250,000円)・授業料半額減免(185,000円) 合計415,000円 ②授業料半額減免(185,000円)			①19名程度 ②2名 ③3名	地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
	県外出身者特別支援	入学手続時		用途を定めない経済的支援	愛知県外から入学される方を支援(学校推薦型入試[指定校型]で入学する場合)	給付奨学金	10万円を給付				地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
	同窓生子女等特別免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免	愛知学院大学・愛知学院短期大学在籍者または卒業した者の2級等内の親族(子女、孫、兄弟姉妹、双子)。	免除・減免	入学金全額(250,000円)				地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
	社会人減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免	社会人入試にて合格した者	免除・減免	入学金半額免除(正課入学金250,000円より半額 125,000円)				地域の制限なし	学生募集室	併用可	併用可	
愛知工業大学	選抜奨学生	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般入試前編目録入試方式において成績上位者の中から選抜する者	給付奨学金	授業料相当額の50%		4年間※継続審査あり		地域の制限なし	八重キャンパス学生サービスグループ	併用可	条件有りて併用可	
	成績優秀奨学生	在学中	2～4年度	特待生・成績優秀者	在学中で各学部・各専攻・各学科・各専攻において前年度までの学業成績及び人物評価等が総合的に上位の者	給付奨学金	年間60万円		1年間	42名 各学部・各専攻(1年度を除く)・各学科・専攻1名	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	条件有りて併用可	
	顕著者奨学生	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	在学中で前年度までの学業成績が優秀な者	給付奨学金	年間5万円		①1年間 ②1回限り	42名 各学部・各専攻(1年度を除く)・各学科・専攻1名	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	条件有りて併用可	
	後援者子女奨学金	在学中		用途を定めない経済的支援	1)～4年生 就学の意思があるにもかかわらず、家計支持者の死亡、火災・風水害等の被害のため家計が著しく悪化し、学費負担が困難であると認められる者	給付奨学金	原則として一人につき30万円以内		原則、在学期間を通して1回のみ	人数制なし	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	併用可	
	入学奨励金	入学後		入学金・授業料減免	1)新生 祖父・祖母、父母、兄弟姉妹が本学の卒業生 兄弟姉妹が本学の在籍生	給付奨学金	納入した入学金の半額		①1年間 ②1回限り	人数制なし	地域の制限なし	学生サービスグループ	併用可	併用可	
	愛知学院大学学費補助奨励給付奨学金	その他	学部からの推薦による		特待生・成績優秀者	学部3年生および4年生で特に学業成績が優秀な者。学部からの推薦により受給者を決定。2年度連続で支給することも可能。	給付奨学金	年間10万円		1年1回	各学部・専攻ごとに異なる(2～4名)	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可
	愛知学院大学学費補助特別給付奨学金1(緊急支援)	在学中	1～4年		学費支援	学生に、主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事柄に限る)により、経済的に就学が困難な者。修得単位数の条件あり。	給付奨学金	年間50万円		在学中同専攻に対し1回	若千名	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可
愛知学院大学学費補助特別給付奨学金1(災害支援)	在学中	1～4年		学費支援	学部生 正念家計支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事柄に限る)により、経済的に就学が困難な者。修得単位数の条件あり。	給付奨学金	年間20万円		在学中同専攻に対し1回	若千名	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可	
愛知学院大学学費補助特別給付奨学金2(留学生支援) 建教支援	在学中		交換留学生	留費用支援制度	交換留学生として海外交流協定校に留学する者。	給付奨学金	甲：15万円 乙：10万円 ※留費用により支援額が異なる。甲乙内の区分は日本学生支援機構・海外留学支援制度の地域区分に準ずる。	建教時に1回	交換留学生全員		地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
愛知学院大学学費補助特別給付奨学金2(留学生支援) 留学支援	在学中		交換留学生	特待生・成績優秀者 留費用支援制度	交換留学者等の留学生試験の成績優秀者で交換留学生として海外交流協定校に留学する者。	給付奨学金	甲：30万円 乙：20万円 丙：10万円 (※半期間の場合)甲：15万円 乙：10万円 丙：5万円 ※留費用により支給額が異なる。甲乙丙の区分は日本学生支援機構・海外留学支援制度の地域区分に準ずる。	建教時に1回	若千名		地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
愛知学院大学同窓会修学奨学金	在学中	4年		特待生・成績優秀者	学部の正課課程に在籍する4年生で学業成績優秀な者。 GPA条件あり。申請年度の月に卒業要項の者。 特待生に学業成績も申請可。同窓会に入会すること。	給付奨学金	年間10万円		1年1回	2～4名(学科専攻により異なる)	地域の制限なし	学生事務室・教務事務室	併用可	併用可	
金城学院大学	金城サポート奨学金	在学中	2年度以降は各専科での学業成績が上位40%以内であれば継続給付	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付対象：合計200名 一一般入試(前期)【2・3月】合格者の内、成績上位者100名※1 ※1は科目別合計点率90%以上(総合成績平均点)にて修業成績が優秀な者。同窓会に入会すること。 二センター試験利用入試(前期)合格者の内、成績上位者100名※2 ※2 得点率80%以上 *入学金、実務実習費、諸金費については、規定通り給付が必要です。	給付奨学金	全学科、年間学費が50万円になる。※入学金、実務実習費、諸金費については、規定通り給付が必要。		修業年度まで1年毎に見直し。	一一般入試(前期)100名、センター試験利用入試(前期)100名の計200名	地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用可	
	金城学院大学貸与奨学金	その他	卒業年度生	学費支援	修業年度内に卒業の要する本学卒業年度で経済的に修学困難な学生	貸与奨学金	学納金範囲内で貸与(無利子)	1年間		若千名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	金城学院緊急時貸与奨学金	在学中	突発的な事情が生じた時	学費支援	突発的な事情によって経済的に修学が難しくなった学生	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付	1年間		若千名	地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可	
	金城学院みどり野舎奨学金	在学中	突発的な経済的事象が生じた時	学費支援	突発的な経済的事象で修学が難しくなった学生	給付奨学金 貸与奨学金	給付奨学金は、金城学院緊急時奨学金受給者に対し、施設整備費範囲内で支給 学納金相当額以内で貸与(無利子)	1年間		若千名	地域の制限なし	みどり野舎	併用可	併用可	
	金城学院大学入居会奨学金	在学中	対象者に大学より給付	学費支援	金城学院大学貸与奨学金受給者のうち、卒業後進学する3名まで対象。	給付奨学金	年間10万円(入学)の奨学金を給付(貸与奨学金の内、貸与金額以内)		在学中に一度のみ(卒業年度生対象)	3名まで		地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可
	金城学院大学科学部給付奨学金	その他	経済的に修学が難しくなった時	学費支援	経済的に修学が難しくなり、留費金給付の学費ローンを利用する学生	給付奨学金	学費ローンの科別の奨学金を給付		半年または1年	各年度の学納金に50名以内		地域の制限なし	学生生活支援センター	併用可	併用可
	金城学院システム奨学金	在学中		学費支援	学カ・人物ともに優秀なキリスト教又は来道者の学生	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付					地域の制限なし	キリスト教センター	併用可	併用可
	金城学院大学海外留学生奨学金	在学中	海外留学者	留費用支援制度	留学生(文法・派遣・指定)に認定された者	給付奨学金	授業料の範囲内で奨学金を給付					地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	短大文芸部芸術学奨学金	その他	海外留学者	留費用支援制度	所定基準を満たした海外留学者とする本学生	給付奨学金	20万円の奨学金を給付					地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	短大エエ予留生奨学金	在学中	海外留学者	留費用支援制度	所定基準を満たした海外留学者とする本学生	給付奨学金	奨学金を給付する制度					地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可
	福山学園大学貸与奨学金	在学中	1～4年		学費支援	全学部全学年、経済的な理由で修学困難な者。	給付奨学金	1年間の授業料、教育実習費、学部教員費の合計額を限度	半年		若千名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	福山学園大学同窓会奨学金	在学中	1年生		学費支援	全学部1年、経済的な理由で修学困難な者。	給付奨学金	年間30万円	1年		2名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	福山学園同窓会奨学金	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	全学部2年以上の学生で学カ・人物ともに優秀な者。	給付奨学金	年間20万円	1年		5名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学校法人福山学園同窓会奨励金	入学後			学費支援	学部1年で、同窓会特別推薦入試により入学した者。	給付奨学金	年間10万円	1年		5名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
福山学園大学看護学部奨学金A	在学中	1年生～4年生		特待生・成績優秀者	看護学部の学生で、一般入試の成績が優秀である者。前期期間は最長4年、2年度以降も継続して給付を受けるためには、前年度の学校成績が看護学部内(上級)で上位20%以内。	給付奨学金	年間60万円	1年		各専攻6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学看護学部奨学金B	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	看護学部2～4年、前年度の学業成績が優秀である者。	給付奨学金	年間30万円	1年		各専攻6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学石岡奨学金	在学中	4年生		学費支援	卒業見込み資格を取得した4年生で、経済的理由により修学の意思を有しながら修学困難な者。	給付奨学金	年間40万円	1年		1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学教育ローン(予備給付奨学金)	その他	前期7月、後期1月		その他	学費支援者等の財政的負担軽減	給付奨学金	福山学園大学教育ローンの在学期間中の科子50%または100%相当額	半年		1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学奨励員【学費後援員】	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	全学部2～4年、前年度の成績優秀者	給付奨学金	10,000円	1年		各専攻・学科の上位5%	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
福山学園大学奨励員【特別活動奨励員】	在学中	1年生～4年生		課外活動支援制度	全学部全学年、原則として各学部1名 前期までのGPAが3.0以上の者で、次の各号のいずれかで当該年度中に継続する学生。 ①成績優秀者 ②派遣留学 ③留学期間が6か月以上の留学 ④留学期間が6か月以上の学部と異なる大学の専攻による研修留学	給付奨学金	3万円	1年		7名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
大同大学	大同大学一般貸与奨学生	在学中	1年生～4年生	学費支援	経済的理由により修学困難のため、奨学金の貸与が必要と認められる者で、日本学生支援機構又はその協賛団体の奨学生でない者。なお審査については、申請書類、成績等を参考に行い、日本学生支援機構奨学生推薦基準を参照する。	貸与奨学金	月額3万円(無利子)を貸与。		採用時から最短期間	特になし	地域の制限なし	学生室	併用不可	併用不可	
	大同大学緊急時貸与奨学生	その他	学納金延納期間中	学費支援	経済的理由により修学困難のため、奨学金の貸与が必要と認められる。学生納付金の滞りが目立っている者で、かつ日本学生支援機構又は大同大学が紹介する貸与機関に滞り込んでいる者。少額、学生納付金の負担軽減で給付できないことを見逃される。	貸与奨学金	授業料及び施設協力費の年額の2分の1相当額(無利子)を貸与。		在籍期間中1学期限り	特になし	地域の制限なし	学生室	併用不可	併用不可	
	大同大学学業奨励金	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	2年度以上の奨学生で、学業、人物、健康ともに優れ、他の学生の模範とするに足る者。前年度の学業成績が各専科上位1割以内の学生を対象とする。	給付奨学金	【2019年度以前入学者】半年相当の奨学金カードを支給。 【2020年度以降入学者】10万円相当の奨学金カードを支給。	1年1回	各専科上位1割以内	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	大同大学入学特別奨励学生<第一種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)方式入試試験、前期入試試験又は大学入学共通テストにおいて、特に優秀な成績であること 2)学力が優秀であること 3)入学時に推薦であること	給付奨学金	年間の学生納付金の全額を給付。		入学年度から最短期間(原則1年)	各専科上位1割以内	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	大同大学入学特別奨励学生<第二種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)方式入試試験、前期入試試験又は大学入試センター試験前期入試試験において、特に優秀な成績であること 2)学力が優秀であること 3)入学時に推薦であること	給付奨学金	年間の学生納付金の60万円を給付。		入学年度から最短期間(原則1年)	各専科上位1割以内	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	総合選抜・推薦入学者特別奨励学生<第一種>	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1)推薦選抜(前期)入試(前期)入試において、特に優秀な成績であること もしくは、学業成績が優秀な者で本学が実施する総合選抜入試(推薦入試)による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金の全額を給付		入学時		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	総合選抜・推薦入学者特別奨励学生<第二種>	入学手続時		入学金・授業料減免	1)高等学校在学中(3年・前期・前期)における資格取得が特に優秀な者。 もしくは、学業成績が優秀な者で本学が実施する総合選抜入試および推薦入試による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金の半額を給付。		入学時			地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
	入学サポート特別奨励学生<第一種>	学校出席時		用途を定めない経済的支援	1)高等学校におけるスポーツ競技が特に優秀であり、かつ学業成績優秀で本学が実施するクラブ推薦入試による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	年間60万円を給付。		入学時から最短期間(原則1年)	1名	地域の制限なし	学生室	併用可	併用可	
	入学サポート特別奨励学生<第二種>	学校出席時		入学金・授業料減免	1)高等学校におけるスポーツ競技が特に優秀であり、かつ学業成績優秀で本学が実施するクラブ推薦入試による入学者 2)人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	入学金を給付。		入学時			地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
	大同大学在学学生奨励奨励員	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	2年度、3年度及び4年度に在学する学生で、学業、人物共に優れ、他の学生の模範となる者。前年度の学業成績が各専科上位の優秀な学生を審査によって採用する。	給付奨学金	【2019年度以前入学者】年間20万円を給付。 【2020年度以降入学者】年間10万円を給付。	1年1回			地域の制限なし	学生室	併用可	併用可
	大同大学在学学生スポーツ特別奨励員	入学手続時			特待生・成績優秀者	入学後にスポーツ競技が特に優秀かつ学業に優れており、クラブの顧問及び監督に推薦され、人物に優れ、他の学生の模範となる者	給付奨学金	年間20万円を給付。		採用年度から最短期間		地域の制限なし	学生室	併用可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
至学館大学	至学館大学・至学館大学短期大学部奨学特待生<スポート奨学特待生>	その他	該当者に別次から案内するため、学生からの申請は不可	特待生・成績優秀者		本学の第2年度以上(在籍する学生の中で、修学進級が促進が行く、前年度までの成績による優次が、各学科・学年(第2年度以上)の入学定員の上位2% (編入予定生を除く)に相当する順位まで)に該当する者。	給付奨学金	授業料の1/4に相当する額	当該年度限り	各学科・学年(第2年度以上)の入学定員2%(編入予定生を除く)	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	条件有りで使用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部奨学特待生<スポート奨学特待生>	その他	新入学生は出願後、在学中1月中旬	課外活動支援制度		スポーツ競技で県以上の成績を確めた者。また、指定クラブの部長の推薦を受けた者。	給付奨学金	入学金、年間の授業料及び教育充実費の相当額を上廻する額	当該年度限り	本学の範囲内	地域の制限なし	学務課 スポート振興部門	条件有りで使用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部教育ローン(利子補給奨学金(給付型))	在学中	1年次生～4年次生の毎年11月	学費支援		本学の指定教育ローンを利用し、学費を完結した学生。(留年生を含む)	給付奨学金	申請年度(支払う料金の合計額)上限3万円	当該年度限り	本学員の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部修学支援奨学金(給付型)	在学中	1年次生～4年次生の毎年10月	学費支援 用途を定めない経済的支援		経済的理由により家計が困難であり、日本学生支援機構奨学金、国の教育ローン及び学費が阻害する団体の教育ローンのいずれかを利用している者。また、所定の成績基準及び要件の成績基準を満たした者。大学新生、社会人入学生及び外国人入学生は除く。	給付奨学金	授業料相当額の4分の1	当該年度限り	本学員の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部修学支援奨学金(貸付型)	在学中	卒業年度の6月又は10月	学費支援		修学進級が旺盛であるが、家庭の経済事情の急変等により、修学の継続が困難になった者であり、卒業が見込まれている者。卒業年度生のみ。大学院生、社会人入学生及び外国人入学生は除く。	貸付奨学金	年間の授業料及び教育充実費相当額を上廻する額	当該年度限り	本学員の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
	至学館大学・至学館大学短期大学部修学支援奨学金(奨励金)	在学中	1年次～4年次生の毎年5月	研修支援制度 奨励金支援 学費費用支援制度 課外活動支援制度 奨励金支援制度 その他	地域・社会貢献、起業支援		学芸、スポーツ、地域貢献等の様々な分野で、将来に向けて目標を明確にし、その夢の実現をめざしてチャレンジしようとする学生及びその団体。	給付奨学金	上限額200万円	奨励対象者あたり1回のみ	本学員の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可
至学館大学・至学館大学短期大学部 教育後援委員会	随時		その他	その他		保護者(大学徴及び専攻科を除く)が至学館大学・至学館大学短期大学部教育後援委員会の委員であり、方がのご不幸があった場合。	給付奨学金	5万円			地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
教員会 留学生授業料減免	入学手續時		入学手續時			本学に在籍する留学生(出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第一に定める在留資格「留学」に該当する者。)全員を対象とする。	免除・減免	授業料の2割	当該年度限り	本学員の範囲内	地域の制限なし	学務課 学生支援部門	併用可	併用可	
中部大学	中部大学長奨学金※2025年度に制度が一部変更されます。	在学中	2～4年		特待生・成績優秀者	学部2年度以上上、学業、人物ともに優れている者。 留学生は他の奨学金との併用できないことがあります。	給付奨学金	年額300,000円	1年	240名以内(各学年80名以内)	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学スポーツ・文化活動奨励奨学金	在学中	2～4年		課外活動支援制度	学部2年度以上上、スポーツ及び文化活動等で優れた成績をあげた者。 留学生は他の奨学金との併用できないことがあります。	給付奨学金	年額100,000円単位で学費相当額まで	1年	20名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学同窓会賞奨学金	在学中	2～4年		特待生・成績優秀者	学部2年度以上上、学業、人物ともに優れている者。 当該年度、大学の他の給付奨学金に重複した者は出願できません。 ただし、中部大学海外留学(研修奨学金)を除く。また、留学生は他の奨学金との併用できないことがあります。	給付奨学金	年額100,000円	1年	200名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学賞奨学金	在学中	1年次学期～4年		学費支援	学部1年次秋学期以降、成績が一定基準以上で、家計が急変し、学費の支弁が困難になった者。 本学の他の奨学金(教育振興賞奨学金)を除くに該当している人、外国人入学生は出願できません。	貸付奨学金	年額200,000円以上、100,000円単位で学費相当額まで	1年	毎年年度のほかに大学が定める	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学特別賞奨学金	在学中	3年～4年		用途を定めない経済的支援	学部3年度以上上、本学大学院進学希望者で、当該学科において成績が上位1%以内の者。 中部大学特別賞学生は出願できません。	貸付奨学金	年額300,000円(本学大学院進学前期試験を合格し、修士の学位を取得した場合は、奨学金の選定を免除)	1年	50名以内	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学教育振興賞奨学金	在学中	4年生		用途を定めない経済的支援	学部4年度に在学しており、苦学を支援する意義等による緊急要請によって経済上学費支弁が困難となった、人物に優れた者。	貸付奨学金	年額300,000円(本学を修了し、修士の学位を取得した場合は、奨学金の選定を免除)	1年	15名	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学特別奨学金	学校出願時			特待生・成績優秀者	「特別奨学生入試で選ばれた者」 入学生、各学年末の成績基準を満たした場合、次年度も奨学金を継続	給付奨学金 免除・減免	入学科および学費(授業料、施設設備費、教育充実費)	最大4年間	約100人(1学年年度実績)	地域の制限なし	入学センター	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学同窓会リーダー育成 地域連携推進型若者育成奨励金	在学中	1年次学期～4年		用途を定めない経済的支援	地域連携推進型に入学し、当該年度に一定回数以上の地域貢献活動を行った者。 ※中部大学同窓会リーダー育成 一人暮らし応援奨励金との併用は認めない。	給付奨学金	年額60,000円	1年	特に定めがないものとする。ただし、予算の範囲内とする。	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学同窓会リーダー育成 一人暮らし応援奨励金	在学中	1年次学期～4年		用途を定めない経済的支援	実家が遠方(※1)あり、親元を離れ、春日井市内に3ヶ月以上継続して一人暮らしをしている本学留学生 ※1:中部大学同窓会リーダー育成 地域連携推進型若者育成奨励金の併用は認めない。外国人入学生は出願できない。	給付奨学金	年額60,000円	1年	特に定めがないものとする。ただし、予算の範囲内とする。	地域の制限なし	学生教育部 学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	中部大学海外留学・研修奨学金	在学中	1～4年		留学費用支援制度	①海外派遣留学奨学金 対象学年: 全学年 学制: 全学期 資格・条件: 1. 留学時点でGPAが3.0以上又は学制的成績順位が上位20%以内の者 2. 派遣先で一定以上の成績を達成し、かつ本学の国際交流行事に協力できる者 ②海外研修奨学金 対象学年: 全学年 学制: 全学期 資格・条件: 1. 留学時点でGPAが3.0以上又は学制的成績順位が上位25%以内の者 2. 研修参加、留学先で一定以上の成績を達成し、かつ本学の国際交流行事に協力できる者 ③海外短期研修奨学金 対象学年: 全学年(1年次夏学期は対象外) 学制: 全学期 資格・条件: 1. 留学時点でGPAが3.0以上又は学制的成績順位が上位25%以内の者 2. 研修参加、留学先で一定以上の成績を達成し、かつ本学の国際交流行事に協力できる者 ④海外短期研修奨学金 対象学年: 全学年(1年次夏学期は対象外) 学制: 全学期 資格・条件: 1. 留学時点でGPAが3.0以上又は学制的成績順位が上位25%以内の者 2. 研修参加、留学先で一定以上の成績を達成し、かつ本学の国際交流行事に協力できる者 ⑤海外短期研修奨学金 対象学年: 全学年(1年次夏学期は対象外) 学制: 全学期 資格・条件: 1. 留学時点でGPAが3.0以上又は学制的成績順位が上位25%以内の者 2. 研修参加、留学先で一定以上の成績を達成し、かつ本学の国際交流行事に協力できる者	給付奨学金	①海外派遣留学奨学金 月額6～8万円、日本学生支援機構の短期派遣奨学金地域基準に準拠。 1学期派遣金は4か月分、2学期派遣金は8か月分支給 ②海外長期研修奨学金 1)参加奨励奨学金(1回につき10万円) 2)特別奨励金(研修期間が8か月分支給) ③海外短期研修奨学金 1回につき10万円 6ヶ月派遣型海外短期研修奨学金 1回につき20万円 ④海外短期研修奨学金 1回につき20万円 ⑤海外短期研修奨学金 1回につき20万円 なお、日本学生支援機構の海外留学支援制度の受給を受ける場合は、海外派遣留学奨学金、海外長期研修奨学金又は海外短期研修奨学金を支給しない。ただし、海外派遣留学奨学金及び海外短期研修奨学金は、支給額によって給付奨学金を支給する場合がある。	①海外派遣留学奨学金 一上限なし ②海外長期研修奨学金 4月中旬～8月 2学期長期派遣型 ③海外短期研修奨学金 1)参加奨励奨学金 2)特別奨励金 ④海外短期研修奨学金 1回につき10万円 ⑤海外短期研修奨学金 1回につき20万円 6ヶ月派遣型 ⑥海外短期研修奨学金 1回につき20万円	国際連携課	併用可	併用可			
	中部大学選抜奨学金	学校出願時			特待生・成績優秀者	「新入生入試方式で選ばれた者」 入学生、各学年末の成績基準を満たした場合、次年度も奨学金を継続	給付奨学金 免除・減免	1)入学科および学費(授業料、施設設備費、教育充実費) 2)2年度以降は前年度の授業料、施設設備費、教育充実費)から50万円を差し引いた額	最大4年間	新入生入試方式募集人員の1/3(約160人)	地域の制限なし	入学センター	併用可	条件有りで使用可	
	東海学園大学	学力優秀者奨学金(一般入試・共通テスト利用入試)	入学手續時		入学金・授業料減免		※1:いずれも科目数が対象 ※2:年次別は一定の成績を確めた者。	免除・減免	入学金(250,000円)及び144年間の授業料・教育運営費免除	4年間 ※1:併用し、年度末に次年度継続に向けての審査あり	成績優秀人数は年度ごとにより変動あり	地域の制限なし	入試広報課及び学生支援課	併用可	条件有りで使用可
学力優秀者奨学金(公募推薦入試)		入学後		入学金・授業料減免		公募推薦入試(前期)合格者の上位者で人物・学力と認められた者。	免除・減免	入学金(250,000円)	1回限り	新入生	地域の制限なし	入試広報課及び学生支援課	併用可	併用可	
スポーツ特別奨学金		入学手續時		入学金・授業料減免		アスリート推薦入試で選抜、指定競技種目(クラブ)の高校時代の活動(実績)を評価。	免除・減免	規定額(入学金及び授業料、教育運営費相当額など)	規模による	規模による	地域の制限なし	入試広報課及びスポーツ文化振興課	併用可	条件有りで使用可	
東海学園大学卒業生奨学金		入学後		学費支援		東海学園大学・東海学園女子短期大学(東海学園大学短期大学部)を卒業し、再度本学に入学する者。 出身学部以外の学部へ入学、編入する者。	給付奨学金	入学金相当額(250,000円)	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
東海学園同窓会女子奨学金		入学後		学費支援		東海中学校・東海高校・東海学園高校(東海女子高校)・東海学園大学・東海学園女子短期大学(東海学園大学短期大学部)卒業生の子女。	給付奨学金	入学金相当額(250,000円)	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
東海学園同窓会女子奨学金(東海学園女子短期大学)校友奨学金		入学後		学費支援		東海学園短期大学部、東海学園女子短期大学の卒業生の子女。 ※東海学園同窓会女子奨学金と重複して支給が可能。	給付奨学金	100,000円	1回限り	申請者すべて	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
兄弟姉妹奨学金		その他		兄弟姉妹が同時に在学している場合	学費支援	資料を同一にする兄弟姉妹が本学に入学し、同時期に在学する場合、2人目の入学生。 または、同時に兄弟姉妹が入学する場合のいずれか1名。	給付奨学金	2人目入学金相当額(250,000円、入年度のみ) 1人目卒業まで、2人目授業料半額相当額(170,000円)	毎学期	申請者すべて(日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金を併用可)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで使用可	
学業優秀者奨学金		在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	各学科各学年(1年生を除く) 前年度までの成績と前年度より、選考委員会が推薦し、(若千名)	給付奨学金	120,000円	年度内で1回	若干名(各学科学年人数の15%以内)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
特別奨学金		その他		(3)における該当者がいる場合に推薦書により申請	課外活動支援制度	在学中に、学術・文化・スポーツなどにおいて、全国・国際レベルで顕著な成績をあげた者、受賞した者。	給付奨学金	業績に相当する奨学金を支給	1回限り	該当者がいる場合	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
留学プログラム奨学金		在学中	1～4年生		留学費用支援制度	本留学プログラム等に参加し、修了し、一定の成績を確めた者。	給付奨学金	長期留学: 30万円 短期留学: 各学期10名程度に10万円支給 ※英語検定試験の結果により、別途奨学金加算	留学につき1回	留学プログラムを修了し一定の成績を確めた者	地域の制限なし	国際交流委員会	併用可	併用可	
利子補給奨学金		在学中	1～4年生		学費支援	経済的理由により本学で返済する義務の「学費サポートプラン」を利用。 該当者(申請者)を学内選考。	給付奨学金	当該年度分の利子相当額以内	年度内で1回	「学費サポートプラン」利用者のうち申請し学内選考を通過した者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
東海学園大学教育後援会賞奨学金		在学中	1～4年生		学費支援	在学中に、学費支弁の補助が必要と認められる学生で、人物・学業共に優れた、修学継続の意欲がある者。 保護者が教育後援会委員であること。	給付奨学金	1種: 10万円 2種: 申請年度の授業料相当額の3分の1	年度内で1回	1種: 40名程度 2種: 10名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
名古屋音楽大学	入学時特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者	特待生試験成績優秀者		給付奨学金			①1名 ②1名(限り)	非公表	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可
	特待生 制度	入学後		特待生・成績優秀者		入学時特待生制度(特待生試験)とは別に、在学中の成績に基づいて選考される特待生制度があります。 学業成績が特に優秀で、健全な学生生活を営む7名生	給付奨学金	当該学期または年度の授業料相当額(全額、半額、または4分の1)の額が奨学金として支給されます。1年次秋学期(1期)から対象となります	非公表		地域の制限なし	事務部(教務)	併用可	併用可	
名古屋学院大学	名古屋学院大学奨学金	在学中	1年生～4年生		学費支援 奨励金支援	国の教育支援制度の認定を受けており、経済的理由により修学困難で、学業良好な学生を対象に当該年度の授業料を除く学費の半額を支給します。授業料および学費を除く。	免除・減免	当該年度の授業料を除く学費の半額	当該年度	70名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	条件有りで使用可	
	名古屋学院大学緊急援助奨学金	在学中	1年生～4年生		学費支援	家計急変により修学困難となった学部学生に対して、緊急に学費減免の奨学金を給付し、学業継続を支援します。	免除・減免	当該学部・当該学期の学費の半額	学期	募集枠の設定なし	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	条件有りで使用可	
	名古屋緊急奨学金	入学手續時		学費支援	主に家計を支えられない人物が突如または経済的理由により家計が急変した本学入学者を対象です。	免除・減免	入学初年度の入学金を除いた学費の半額	入学初年度	募集枠の設定なし	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可		
	名古屋学院大学災害時緊急奨学金	在学中	1年生～4年生		学費支援 被災者奨励金支援	災害(地震、津波、震災)により家計が急変し、経済的に修学困難となった在学学生、本学入学者に対し、緊急に学費を給付し学業継続を援助することを目的としています。	給付奨学金	当該年度授業料相当額の半額。入学者の場合は、前述の給付に加えて、入学金相当額を給付	当該年度	募集枠の設定なし	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可	
	学業成績優秀者奨学金	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	前年度の学業成績に基づき選考を行い、学業成績優秀者として選考された学生	給付奨学金	年額15万円	1回/年	年額120名程度	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	条件有りで使用可	
名古屋経済大学	学業成績優秀者奨学金	在学中	1年生～3年生 各学年度末		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	各学科・各学科1年次から3年次の学業成績優秀者(1名から3名)まで、GPA3.0以上の学生	免除・減免	1位20万円、2位10万円、3位5万円	年に一度、ただし対象にない場合は、翌年度以降も受けられる	45名	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	条件有りで使用可	
	学術・文化・スポーツ等優秀者奨学金	在学中	1年生～3年生		課外活動支援制度	1～3年生のうち、学術・文化・スポーツに係る優れた実績を挙げた団体あるいは個人。	給付奨学金	1～50万円の範囲で、内容によって決まる。	一回限り		人数制なし	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	併用可
	資格取得・認定合格者奨学金	その他		資格取得・認定合格申請時。	資格取得支援制度	在学中に指定する資格及び検定試験に合格した者	給付奨学金	それぞれの資格、取組額によって異なる	なし	なし	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可	
	フランチポイント I	在学中			特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	フランチポイント奨学金選抜試験で高得点を収めて入学した者。 奨学生の待遇を2年次以降も継続するには、学部・学科で定める要件をすべて満たすことが必要。 継続要件は以下の通り。 ※経済学部・経営学部・法学部・人間生活科学部管理栄養学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に30単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で60単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で90単位以上取得していること ④各年度末のGPAが2.5以上であること ※人間生活科学部教育実践学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に30単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で74単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で106単位以上取得していること ④各年度末のGPAが2.5以上であること (2)教育・研究者になる意思が堅固であり、教員免許状及び保育士資格取得に必要な授業を履修学年で履修していること	免除・減免	4年間の学納金のうち合計1240万円。ただし継続には条件がある。	条件を満たせば継続される。	なし	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可	
フランチポイント II	在学中			特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	フランチポイント奨学金選抜試験で高得点を収めて入学した者。 奨学生の待遇を2年次以降も継続するには、学部・学科で定める要件をすべて満たすことが必要。 継続要件は以下の通り。 ※経済学部・経営学部・法学部・人間生活科学部管理栄養学科 (1)修得単位数 ①1年次終了時に30単位以上取得していること ②2年次終了時に累積で74単位以上取得していること ③3年次終了時に累積で106単位以上取得していること ④各年度末のGPAが2.5以上であること (2)教育・研究者になる意思が堅固であり、教員免許状及び保育士資格取得に必要な授業を履修学年で履修していること	免除・減免	4年間の学納金のうち合計1120万円。ただし継続には条件がある。	条件を満たせば継続される。	なし	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可		
入学金特別交付・遠隔地特別入金金交付	入学後			入学金・授業料減免 その他	入学金特別交付(卒業生の子弟)名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部卒業生の子、兄弟・姉妹、在学生の兄弟・姉妹、及び移住中の中学・高校の卒業生の子。 遠隔地特別入金金交付: 本学が指定する地域に生活基盤(父母と世帯をともにする者)があり、指定地域の高校を2022年3月卒業見込の者。または卒業した者。対象地域は、北海道、青森県、岩手県、宮城県 他21県。	その他	入学後の手続きにより入金金交付	入学後の申請1回限り	制設なし	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用可	併用可		
スポーツ推薦入学者特別制度	在学中	1年生～4年生		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	セレクション(選)と判断された方。競技能力により学費減免制度あり。なお、2年次以降の減免措置継続には、当該クラブ活動の参加状況が良好であること。以下の単位数を取得する等、一定の条件が必要。	免除・減免	競技能力により減免は異なる。	条件を満たせば継続される。	人数による制限はない。	地域の制限なし	広報センター、学務部 学生支援担当	併用可	併用可		
企業支援基金制度	在学中	1年生～3年生		学費支援	1年次履修分から申請可能。 取得単位数、GPAなどその他の条件が決まっている。	免除・減免	授業料相当額免除	半期ごとに申請、在学中1回限り	人数制はない	地域の制限なし	学務部 学生支援担当	併用不可	併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
名古屋商科大学	創立者奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 学園の創立者である東本社一先生の意志を引き継ぐべく開拓者精神のもと、口伝からの学園に対する姿勢とその成果を評価し、本学学生の模範となる学生に奨学金を支給します。 【期間】 前回の定期試験における学修成績の平均ポイントが3.80以上で、かつ前期の出席率が95%以上であること。 【資格】 ①前学期の履修単位が18単位(4年次前期14単位)以上、奨学金支給期間までに学納金が入金されていること(体育科目、集中講義科目、教職科目、留学期に開講して認定される科目、履修計画がつかない科目は登録単位数から引かれたポイント計算に含めません)。 ②2学期中に、本学以外の一般奨学金を受けていないこと。ただし、国際奨学金学生に限定しない。 ③3年生として認定された学期の学納金が本学の指定する納付期日までに全額納入されていること。	給付奨学金	100,000円(半年額)	6ヶ月	各学年定員6名	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	国際寮奨学金	その他	入学手続き時、在学中随時	滞制度	本学が実施する入学試験を受験、入学し、成績・人物ともに優秀な者で、本学が保有する国際寮へ入室する方。2年次以降は各年度終了時点における学修成績および出席率の基準を満たしていることと受給継続。 【期間】 前年度の学修成績の平均ポイントが2.80以上で、かつ前年度の出席率が95%以上であること。 【資格】 2年次以上で、体育食もしくは文化食のクラブに所属し、継続的に活動していること。 【奨励金】 12名以内	給付奨学金	給費額は各国際寮のタイプによって異なり、月額40,000円から10,000円。成績、人物ともに優秀な学生で本学の国際寮に入居する者に限りです。	年度毎に給費査定を行います。該当年度において給費滞りとなっている場合、給費滞りの変更または給費を停止します。	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	併用可	
	学修奨励奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	本学を奨励し入学した者で、成績・人物ともに優秀な者。 3年次および4年次の支給にあたっては、次の条件を全て満たしていること。 ①年度および前年度の学修成績(前年度の平均ポイント)の平均が2.60以上であること。 ①1年次と2年次履修の平均出席率が95%以上であること。 ②1年次と2年次履修の履修単位数が18単位以上であること。もしも(1)と(2)が達成された場合は、当該学期の授業期間中に留学期間奨励奨学金の支給を受け、国際交流プログラムに参加していること。	給付奨学金	第一種 年額 90万円 第二種 年額 60万円 第三種 年額 30万円	標準修業年限の4年間	20名以内	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	学長奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 学生の学修に対する姿勢とその成果を評価し、本学学生の模範となる学生に奨学金を支給します。 【期間】 当該支給学期の前学期における学修成績の平均ポイントが3.80以上3.80未満で、かつ前期の出席率が95%以上であること。 【資格】 ①前学期の履修単位が18単位(4年次前期14単位)以上、奨学金支給期間までに学納金が入金されていること(体育科目、集中講義科目、教職科目、留学期に開講して認定される科目、履修計画がつかない科目は登録単位数から引かれたポイント計算に含めません)。 ②2学期中に、本学以外の一般奨学金を受けていないこと。ただし、国際奨学金学生に限定しない。 ③3年生として認定された学期の学納金が本学の指定する納付期日までに全額納入されていること。	給付奨学金	50,000円(半年額)	6ヶ月間		地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	条件有り併用可	
	同窓会奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	【趣旨】 本学会からの奨学金をもとに学修成績ひらびに継続的に課外活動を行う優れた学生の育成を目的として、文芸演劇を奨励した学生12名以内の奨励奨学金を支給します。 【期間】 前年度の学修成績の平均ポイントが2.80以上で、かつ前年度の出席率が95%以上であること。 【資格】 2年次以上で、体育食もしくは文化食のクラブに所属し、継続的に活動していること。 【奨励金】 12名以内	給付奨学金	年額100,000円以内を給付		2名以内	地域の制限なし	学生支援部門学生担当	併用可	併用不可	
	Global Field Study Program (A & B & C)奨学金	在学中	2年生～3年生 Program C(アジア圏)のみ4年生も対象	特待生・成績優秀者 留学期間奨励金	①広く世界を旅し、異文化を広げること(グローバル化時代の重要な学びの一つとして位置づけ、同性の二人一組で旅し、その経験で自主的活動に取り組む)。 ② Program A(世界一周) 【内容】 事前研修中に大学と提携した産地計画に従い、各自の研究テーマに基づいて自主的活動を行なうが、アジア・ヨーロッパを旅して世界を一周する。 【期間】 1月～12月(内、約180日) 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ① 各学期に所属する年次から4年次の正規学生であること ② 入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③ 選考時点で授業料等が完納済みであること 【留学期間】 渡航前までにTOEIC受験 ① Program B(北米一周) 【内容】 事前研修中に大学と提携した産地計画に従い、各自の研究テーマに基づいて自主的活動を行なうが、北米を一周する。 【期間】 1月～12月(内、約180日) 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ① 各学期に所属する年次から4年次の正規学生であること ② 入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③ 選考時点で授業料等が完納済みであること 【留学期間】 渡航前までにTOEIC受験 ① Program C(アジア圏) 【内容】 事前研修中に大学と提携した産地計画に従い、各自の研究テーマに基づいて自主的活動を行なうが、アジア圏を一周する。 【期間】 6月～8月上旬(内、約65日) 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ① 各学期に所属する年次から4年次の正規学生であること ② 入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③ 選考時点で授業料等が完納済みであること 【留学期間】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	- Program A(世界一周) 往復航空運賃、入念ならびに船、鉄道に係る現地交通費、現地ユースホステル宿泊費 合計 約600,000円 - Program B(北米一周) 往復航空運賃、入念費、現地ユースホステル宿泊費 合計 約500,000円 - Program C(アジア圏) 往復航空運賃、バスや鉄道に係る現地交通費、現地ユースホステル宿泊費 合計 約450,000円	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可			
	ギャップイヤープログラム奨学金	その他	新1年生は本学入学決定次第随時 2年生から4年生も対象	特待生・成績優秀者 留学期間奨励金	イギリスのギャップイヤーという慣習的制度の考え方を取り入れたプログラム。1～2年次の履修をヨーロッパでの自主的活動にあてます。学生が自分の能力や適性を知り、教養では得られない「実務」を経験する機会を提供します。 【内容】 ヨーロッパ(研修・観学、企業訪問、ボランティア活動等)、ヨーロッパ(研修前後の国内研修)。 【期間】 6月上旬～8月下旬(内、約70日) 【資格】 選考時点で授業料等が完納済みであること アジア圏以外への渡航に必要となる 【留学期間】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	ヨーロッパ(研修開始地までの往復航空運賃、ユーレールチケット(バス(ヨーロッパ鉄道)入札)、海外研修期間前後の日戻り及び帰国の航空運賃、現地交通費、現地ユースホステル宿泊費 合計 約450,000円	1年間10名程度	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可		
	フロリアスビジットプログラム奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 留学期間奨励金	英国、カナダ、中国での大学附属の語学学校にて語学を集中的に学ぶプログラムです。 【内容】 スプリング(語学研修)／英国 13週間・カナダ 13週間、中国 17週間 【資格】 以下の条件を全て満たしていること。 ① 各学期に所属する2年次から4年次の正規学生であること ② 入学以来通常の学修成績(前学期平均ポイント2.0以上、出席率95%以上) ③ 英語及びカナダ語はTOEFL200以上、中国語はHSK2級の合格があること ④ 選考時点で授業料等が完納済みであること 【奨励金】 英 国 マンチェスター大学 カナダ クイーンズ大学、マギル大学、アルバータ大学 中 国 北京外語話大学	給付奨学金	留学先授業料、往復航空運賃 合計: 英国・カナダ 約700,000円 / 中国 約 300,000円	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可			
	国際ボランティアプロジェクト奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 留学期間奨励金	世界30ヵ国(政庁中心)を舞台に、各都府から集まった若者ととも生活しながら、環境保護、建設、修復、社会福祉等、地球社会発展のためにボランティア活動に参加します。 【内容】 異文化理解・交流、地域社会奉仕を目的としたボランティア活動 【期間】 7月下旬～8月上旬(内、4週間) 2月初旬～2月下旬(内、4週間) 【締切】 ①「国際ボランティア論」と「国際ボランティア実践」で合計3単位を卒業要件として認定します。レポートによる評価で判断されます。 以下の条件を全て満たしていること。 ① 参加学期の前二学期の学修成績(前学期平均ポイント)が1.80以上(2年次以上) ② 参加学期の前二学期の平均出席率が95%以上(2年次以上) ③ プロگرام参加の志願者に合格した者 ④ 国際ボランティア論の単位取得者(これは履修中の学生) ⑤ 選考時点で授業料等が完納済みであること 【留学期間】 渡航前までにTOEIC受験	給付奨学金	渡航往復航空運賃相当額(上限15万円)	地域の制限なし	国際交流	併用可	併用可			
	(入試)成績優秀者奨学金※4年間最大360万円給費	その他	一般選抜前期出願締切:1月下旬(自動エントリー)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	2024年度の下記試験区分合格者を対象に支給を行うもので、エントリー等の事前手続きは必要ありません。 一般入試A～一般入試B、共通テストプラス(共通テスト利用前期)	給付奨学金	給費額 1種 90万円/年額 2種 60万円/年額 3種 30万円/年額 試験の結果により奨学金を給費いたします。	4年間(奨学金の給費は学期毎に実施され、その継続に一定の条件があります。したがって、奨学金給付対象者が卒業成績、出席率などの要件を満たさない場合は奨学金の支給を停止する可能性があります。)	地域の制限なし	渉外部門入試広報担当	併用可	併用可		
特別奨学生入試※4年間最大360万円給費	その他	出願期間:11/15(水)～12/4(日)※自動エントリー	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	奨励生・全学部対象	給付奨学金	給費額 1種 90万円/年額 2種 60万円/年額 3種 30万円/年額 試験の結果により奨学金を給費いたします。	地域の制限なし	渉外部門入試広報担当	併用可	併用可				
南山大学	南山大学随時奨学金	在学中	全学年	学費支援	本学の大学院または学部在学中、学費納入が困難でかつ品行方正かつ学業成績が平均水準以上の者、または、家計支援者の死、病産その他の事由により家計状況が急に変化した者。全学年が対象であり、採用期間は、原則1学期以内、本人の申請に基づき、採用が決定し次第、一括で支給する。	貸与奨学金	当該学期の授業料、教育充実費/施設設備費、LL実習費(実業学科)相当額	原則1学期以内	各学期50名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	南山大学の音楽給付奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	一定の成績を収めている学部学生のうち、経済的困難度の高い者、進考にあたっては地域性も考慮する。年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	30名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	南山大学給付奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	一定の成績を収めている学部学生のうち、経済的困難度の高い者、年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	50名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
	南山大学の会給付奨学金	在学中	1年生	学費支援	一定の成績を収めている学部学生のうち、経済的困難度の高い者、1年次生対象。年度ごとに選考を実施。12月に一括で支給する。	給付奨学金	300,000円	一括支給	22名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
	南山大学奨励奨学金(学業成績)	在学中	2年生～4年生	その他	奨励	学業成績が特に優秀な者(当該年度学部長表彰対象者の中から前年度の学業成績に基づいて選考)、年度ごとに選考を実施。10月頃に一括で支給する。	給付奨学金	200,000円	一括支給	32名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	南山大学奨励奨学金(学術・文化・スポーツ)	在学中	2年生～4年生	その他	奨励	学術・文化・スポーツ分野において特に顕著な成果を上げた個人または団体(前年度学部長表彰対象者の中から選考)、年度ごとに選考を実施。10月頃に一括で支給する。	給付奨学金	個人 300,000円 団体500,000円	一括支給	制なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	南山大学創立50周年記念奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援	日本学生支援機構奨学金(緊急採用/応急採用)に前年度より推薦された学部学生または南山大学随時奨学金を前年度に貸与された学部学生。一定の成績を収めており、困難度の高い者。年度ごとに選考を実施。9月下旬に一括で支給する。	給付奨学金	第1種 700,000円 第2種 350,000円	一括支給	1種 2名 2種 6名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
	神倉会奨学生奨学金	在学中	全学年	入学金・授業料減免	神倉会に属する特待・特待生・修道士が対象。学生納入金減免申請書の提出により、在学期間中減免される。	給付奨学金	入学金、授業料、教育充実費/施設設備費、LL実習費(実業学科)相当額	在学期間中	制なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	留学給付奨学金	在学中	2年生～4年生	留学期間奨励金	本学の派遣留学制度(文徳留学/認定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学期間が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者。学内審査あり。留学奨励奨学金および留学期間奨励金と併用可能。	給付奨学金	300,000円または500,000円(ただし、500,000円は特別な事情がある場合のみ)	一括支給	20名以内	地域の制限なし	国際センター事務室	併用可	併用可	
	留学奨励奨学金	在学中	2年生～4年生	留学期間奨励金	本学の派遣留学制度(文徳留学/認定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学期間が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者。学内審査あり。留学奨励奨学金および留学期間奨励金と併用可能。	給付奨学金	交換留学は1学期あたり100,000円、認定留学は1学期(※)あたり150,000円※3ヶ月以上8ヶ月未満を1学期として算出	一括支給	100名以内	地域の制限なし	国際センター事務室	併用可	併用可	
留学貸与奨学金	在学中	2年生～4年生	留学期間奨励金	本学の派遣留学制度(文徳留学/認定留学)により留学する学生を対象とする。学業成績優秀、人物良好かつ留学期間が明確であり、経済面において奨学金の必要性が高い者かつ定められた期間内に返還できる者。留学期間奨励金および留学奨励奨学金と併用可能。	貸与奨学金	300,000円、500,000円または1,000,000円	一括支給	100名以内	地域の制限なし	国際センター事務室	併用可	併用可		
日本福祉大学	強化型定期奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学部: 本学通学学部全て 対象入試: 編入学試験を除くいずれかの試験 申請資格: 編入入学試験を除く、いずれかの入学試験に出願した者で、高い目的意識や学業意欲があり、入学金に特別強化型定期「強化奨励金」入金を希望する者	免除・減免	4年間の授業料 半額減免	減免期間は、4年間とする。ただし、半額以上に減免継続の可否を判断する。	年度ごとに採用人数を決定する	地域の制限なし	スポーツ・文化振興課、学生課	併用可	併用可	
	社会福祉学部スカラシップ入学試験	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学部: 社会福祉学部 一般入学試験(前期日程方式(教科免除))とセットで出願 合格者は、通常の入学手続きに代って特別プログラムを実施する。スカラシップ入学試験が不合格でも、一定以上の成績の場合は一般入学試験(前期試験)合格の権利が保たれる。	免除・減免	授業料の半額を4年間減免。入学金半額減免。	減免期間は、4年間とする。ただし、年度ごとに減免の可否を判断する。	定員20名	地域の制限なし	入学広報課、奨励事務室、学生課	併用可	併用可	
	私費外国人留学生学費減免	在学中	1年生～4年生、在学中4回まで申請可能	学費支援	外国籍を有し、出入国管理及び難民認定法に基づき在留資格「留学」を有する者が対象。 1年次は入学金および前・後期の授業料の50%相当額を減免。 2年次～4年次は前年度の修得単位数と成績により減免率を決定。	免除・減免	前年度成績に応じて0%～65%減免	在学中4回まで申請が可能	人数制限なし	地域の制限なし	学生課、国際課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
名古屋産業大学	学業特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者		一般選抜、大学入学共通テスト利用で優秀な成績を取った方。 授業料1/2もしくは1/4免除。	免除・減免	授業料1/2もしくは1/4	入学試験(一般選抜、大学入学共通テスト利用)	一定数	地域の制限なし	入試広報室	併用可	併用不可
愛知東邦大学	東邦STEP奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者		対象:1年～4年生 学部:全学部 資格:東邦STEP受講生	給付奨学金	所属学部の授業料+東邦STEP受講料	1年間	各学年10名以内	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可
	スポーツ・音楽推薦特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象:1～4年生 学部:全学部 条件:スポーツ・音楽推薦入試の合格	免除・減免	A:入学金、授業料、教育充実費、施設設備費の免除 B:入学金、教育充実費、施設設備費の免除 C:施設設備費の免除	4年間(※継続審査あり)	人数制限なし	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可
	TOHO Learning House奨学金	在学中	1年生～4年生	課外活動支援制度		対象:1年～4年生 学部:全学部 資格:TOHO Learning Houseのゲストハウス運営において、実生の中でリーダーシップを発揮し、企画・運営に取り組む学生	給付奨学金	年間10万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用不可
	B特待生制度	在学中	2年生以上の各学年	特待生・成績優秀者		B特待生 2年生以上各学年で前年度の成績が10位以内の者にに対し、面接選考の上、総合評価が上位である5名を選定し、当該年度1年間授業料の後期分を免除する。 ※対象者になるための選考条件あり。 ※選定後の資格喪失条件あり。	免除・減免	B特待生 年間授業料の後期分 60万円(2年次・4年次)	後期	5名	地域の制限なし	学務課	併用可	条件有りで併用可
同済女子大学	A特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		入学試験成績上位者	免除・減免	年間120万円(入学年度の年間授業料全学を免除)	①1年間 ②1回限り	5名以内	地域の制限なし	企画・地域交流課	併用可	併用可
	愛知県外出身者支援奨学金制度	入学手続時		用途を定めない経済的支援		①本校の入学試験(社会人入試、協力企業特別推薦入試は除く)に合格し、入学した者 ②愛知県外(国内)の高等学校または中等教育学校をいずれも通級制を除く卒業した者 ③本人と生計を同じくする父および母(父および母がいらない場合は代わりに生計を支えている者)が愛知県外に居住し、入学後は自宅外(下宿)または自宅外の専ら通学する者 ④上記父母等の、最新の「所得証明書」(市町村発行のもの)記載の収入・所得金額を合算した金額が下記に該当する者 ⑤父・母の年収(課税)1,800万円未満 ⑥その他、事業所得金額:350万円未満	給付奨学金	年間24万円	4月と12月に給付金額の半額ずつ	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	特別奨学生	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		2年～4年生 通算GPA上位者から選考する。	免除・減免	授業料の半額を免除	1年間	若干名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
	奨学生S	学校出願時		入学金・授業料減免		大学入学共通テスト利用入試1期の成績上位者5名	免除・減免	入学から4年間授業料半額免除	4年間	5名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
名古屋柳城女子大学	特別給付奨学金1年次奨励奨学生	その他	1年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		このも学部・科目に在学する学生で1年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 1年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	年次の学年末累積GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金2年次奨励奨学生	その他	2年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		このも学部・科目に在学する学生で2年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 2年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	2年次の学年末累積GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金3年次奨励奨学生	その他	3年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		このも学部・科目に在学する学生で3年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 3年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	3年次の学年末累積GPAが上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金4年次奨励奨学生	その他	4年次学年末累積GPAに基づき選考	特待生・成績優秀者		このも学部・科目に在学する学生で4年次の学業成績がきわめて優秀で他の学生の模範となる者 4年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	給付奨学金	1位:10万円、2位:7万円、3位:5万円	1年間	4年次の学年末累積GPA順位が上位3位以内の者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	特別給付奨学金緊急奨学生	在学中	1年次から4年次	学費支援		このも学部・科目に在学する学生 主たる家計支持者の失業、病気、事故、病気若しくは災害等により家計が急変し、修学が困難となった者で、かつ1年次においては1年次前期の学期末累積GPA 2年次から4年次については前年度の学年末累積GPAの順位がそれぞれ上位3分の1以内の者 申請は、在学中であれば家計急変事由発生日から12ヶ月以内で随時 在学期間中、緊急奨学生の称号は1回のみ	給付奨学金	当該年度の授業料半額相当額	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで併用可
	特別給付奨学金就学支援奨学生	在学中	1年次から4年次	学費支援		このも学部・科目に在学する学生で学業成績が優秀かつ同学の意志のある者で、各学年における前年の学期末累積GPA順位が上位3分の1以内の者 経済的に困難し、支援を必要とする者で家計基準については、日本学生支援機構「第1種奨学金」の算定方法を準用する 在学期間中、就学支援奨学生の重ねての採用を制限しない	給付奨学金	年間12万円	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで併用可
	特別給付奨学金特別活動奨励奨学生	在学中	1年次から4年次	課外活動支援制度		このも学部・科目に在学している学生で学外における活動で顕著な成績を上げた者と認められる者 他の学生の模範となること(他学部員や他校生を含む) 在学期間中、特別活動奨励奨学生の重ねての採用を制限しない	給付奨学金	3万円	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	マーガレット・ヤング奨学金	在学中	1年次から4年次	学費支援		このも学部・科目に在学する学生 学業成績が優秀かつ同学の意志のある者で、1年次においては高校在学時の学業成績評定平均値が9.5以上の者とする。2年次～4年次においてはそれぞれ前年度の学年末累積GPAの順位が上位3分の1以内の者 経済的に困難し、支援を必要とする者。但し、家計基準については、日本学生支援機構「第1種奨学金」の算定方法を準用する	給付奨学金	年間12万円	1年間	年間10名まで	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで併用可